

**Intel® Optane™ Memory and Storage Management
メンテナンスガイド**

商標

Intel®、Intel ロゴ、およびその他の Intel のマークは、Intel Corporation またはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国/地域における商標または登録商標です。

Optane は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft とそのロゴおよび、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NEC の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
4. 本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、4 項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

本書は、「Intel Optane Memory and Storage Management」について説明します。

なお、本書の内容は、オペレーティングシステムの機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に記載しています。オペレーティングシステムに関する操作方法や不明点については、それぞれのオンラインヘルプやマニュアルを参照してください。

目次

概要.....	5
Intel Optane Memory and Storage Management とは	5
サポートするボリュームタイプ	5
動作環境	5
ハードウェア	5
ソフトウェア	5
注意事項	6
制限事項	6
Intel Optane Memory and Storage Management	7
起動.....	7
メニュー.....	8
管理.....	8
Create RAID Volume	10
インテル Optane メモリー	10
パフォーマンス.....	11
設定.....	12
情報.....	13
スペア機能.....	13
ボリュームの作成.....	14
ボリュームを作成する	14
追加ボリュームの作成	19
ボリュームの初期化	22
ボリュームサイズの増加.....	26
ボリュームの削除.....	29
ボリューム名の変更	32
キャッシュモードの変更.....	35
キャッシュモードをライトバックに変更	39
メール通知を有効にする.....	44
障害通知	47
障害通知	47
通知メッセージ	47

概要

Intel Optane Memory and Storage Management とは

Intel Optane Memory and Storage Management は、RAID ボリュームの管理を行うためのアプリケーションです。Intel Optane Memory and Storage Management を使用することで、ストレージ構成の表示、作成、および 管理をすることができます。

サポートするボリュームタイプ

Intel Optane Memory and Storage Management がサポートするボリュームタイプは、RAID1 です。

動作環境

ハードウェア

- Intel RST を実装した本体装置

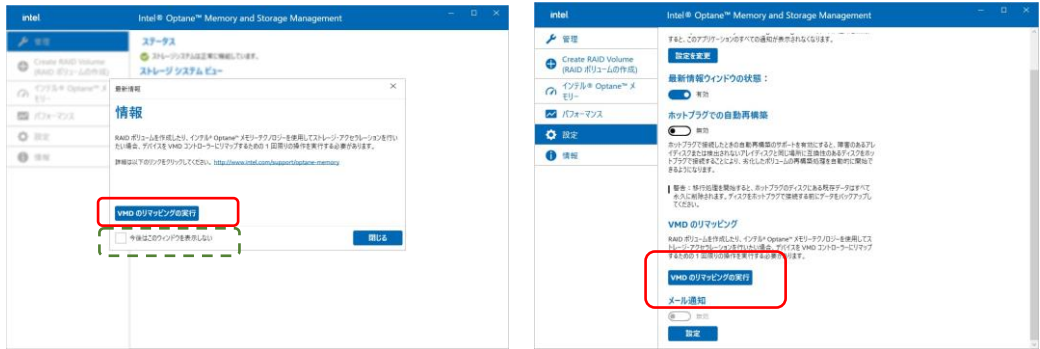
ソフトウェア

- Windows11

注意事項

・VMD リマッピング機能の注意事項

NVMe SSD 搭載モデルの装置では、Intel Optane Memory and Storage Management の VMD リマッピング機能を使用できません。非サポート機能となりますので使用しないでください。最新情報の画面が出た場合は、「今後はこのウィンドウを表示しない」にチェックを入れて、閉じてください。



・メール通知機能の注意事項

- メール通知機能をご使用時にメール通知を受信した場合は、メール内容だけでなく、Intel Optane Memory and Storage Management 画面にて RAID 状況をご確認ください。
- メール通知機能は、Intel Optane Memory and Storage Management 画面での RAID 状況確認が必要となるため推奨しません。

制限事項

制限事項はありません。

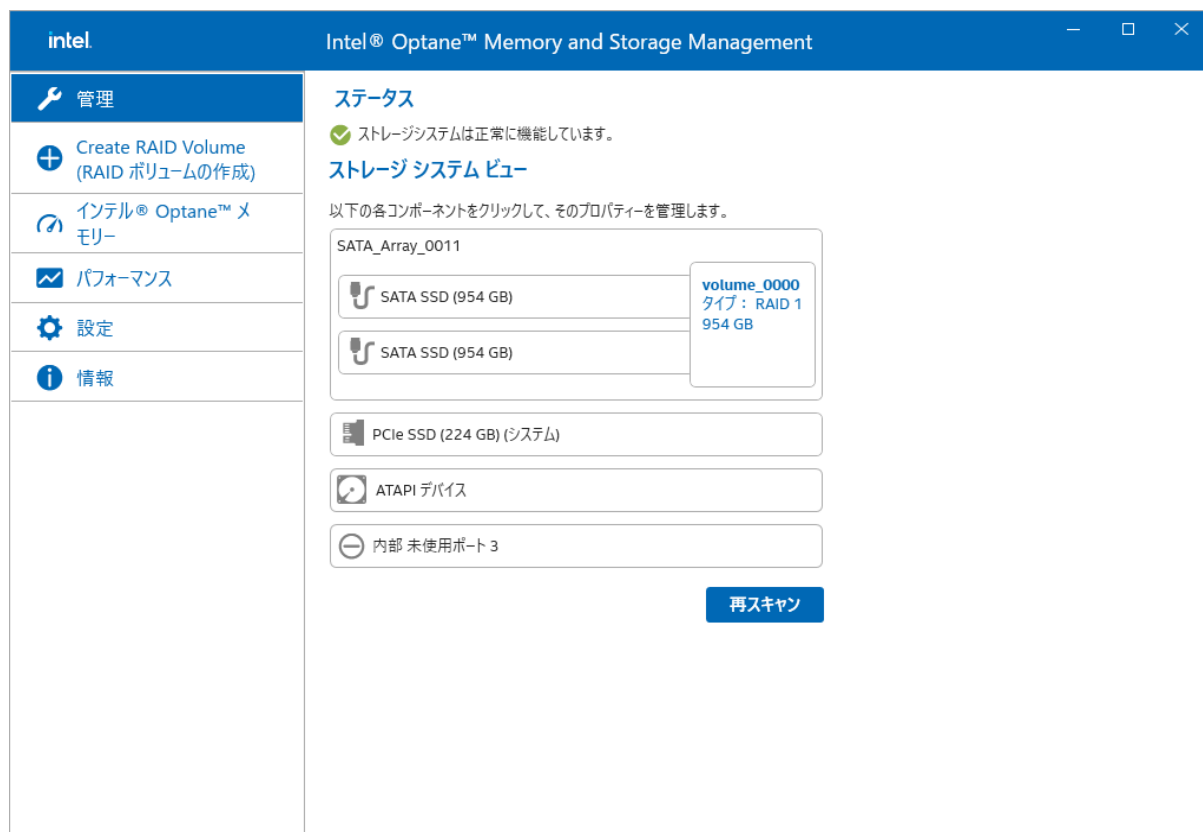
Intel Optane Memory and Storage Management

起動

Intel Optane Memory and Storage Management を起動するには、Windows の[スタート]メニューを開き、[すべてのアプリ]→[Intel Optane Memory and Storage Management]の順に選択します。

アプリケーションにアクセスして機能を利用するには、管理者として実行を選択する必要があります。これには、管理者アカウントでの使用が含まれます。

GUI が起動して[管理]メニューが表示されます。



メニュー

Intel Optane Memory and Storage Management は、「管理」、「Create RAID Volume」、「インテル Optane メモリー」、「パフォーマンス」、「設定」、「情報」のメニューがあります。

管理

ストレージシステムとコンポーネントの状態を表示し、アクションを実行します。

- [ステータス]は、コンピューターのストレージシステムのステータスを表示します。
- [ストレージシステムビュー]は、Intel RST によって制御されているコンポーネントを表示します。
- [再スキャン]を選択すると、ストレージビューが最新の状態に更新されます。

The screenshot shows the Intel Optane Memory and Storage Management application window. The title bar reads "intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management". On the left is a navigation sidebar with the following items: "管理" (Management), "Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)", "インテル® Optane™ メモリー", "パフォーマンス", "設定", and "情報". The main content area is titled "ステータス" (Status) and shows a green checkmark indicating the storage system is functioning normally. Below this is the "ストレージシステムビュー" (Storage System View) section, which lists components: "SATA_Array_0024" (containing two "SATA SSD (954 GB)" drives, with a callout box for "volume_0000" showing "タイプ: RAID 1" and "954 GB"), "PCIe SSD (224 GB) (システム)", "ATAPI デバイス", and "内部 未使用ポート 3". A "再スキャン" (Rescan) button is located at the bottom right of the main area.

表示されているコンポーネントを選択すると、関連する詳細情報とアクションを表示します。
コンポーネントの右に表示されたメニュー内からアクションを選択すると、アクションを実行します。

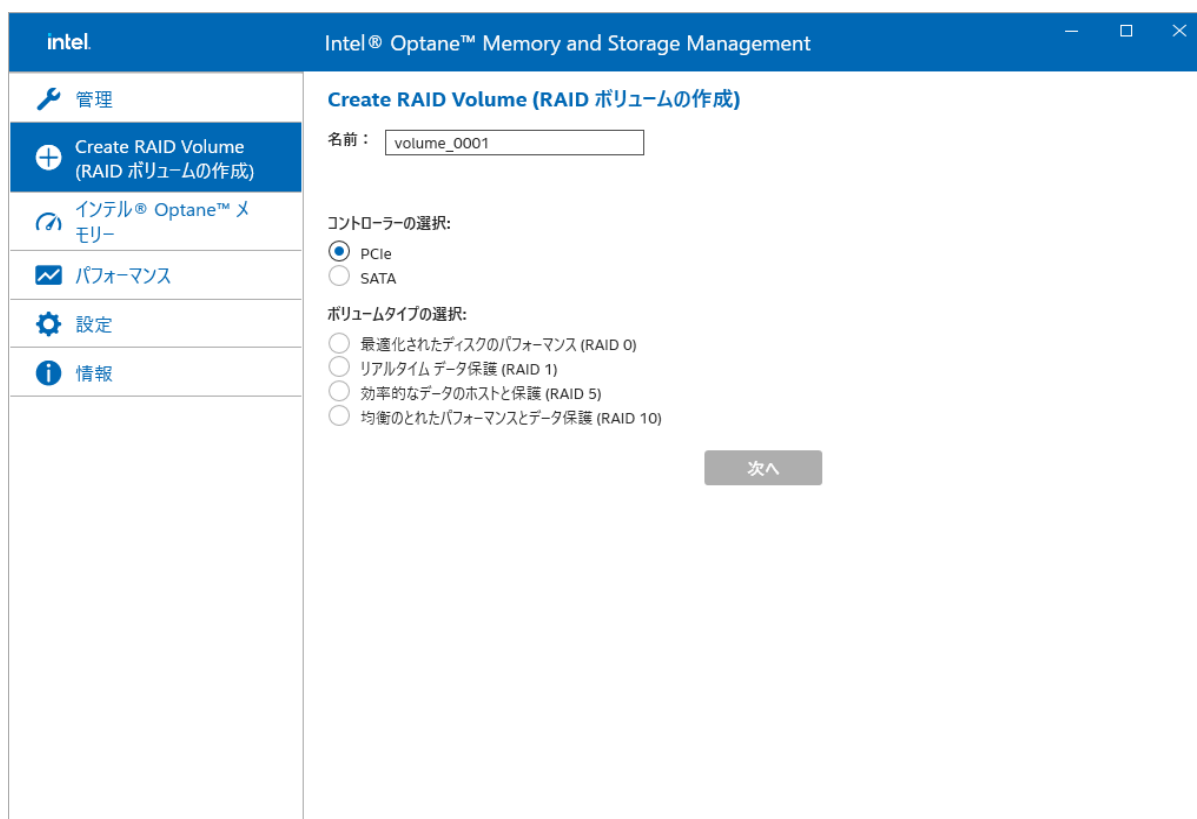
The screenshot displays the Intel Optane Memory and Storage Management application window. The interface is in Japanese and shows the following components:

- Header:** intel | Intel® Optane™ Memory and Storage Management
- Left Navigation Panel:**
 - 管理 (Management)
 - Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)
 - インテル® Optane™ メモリー (Intel® Optane™ Memory)
 - パフォーマンス (Performance)
 - 設定 (Settings)
 - 情報 (Information)
- Main Content Area:**
 - ステータス (Status):** Green checkmark icon. Text: "ストレージシステムは正常に機能しています。" (Storage system is functioning normally.)
 - ストレージシステムビュー (Storage System View):** Text: "以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。" (Click on each component below to manage its properties.)
 - SATA_Array_0024:** A container for RAID components.
 - Two SATA SSD (954 GB) drives are listed. A blue callout box points to the top drive with text: "volume_0000", "タイプ: RAID 1", "954 GB".
 - PCIe SSD (224 GB) (システム) (System)
 - ATAPI デバイス (ATAPI Device)
 - 内部 未使用ポート 3 (Internal unused port 3)
 - volume_0000 Detail Panel (Right):** A blue-bordered panel showing details for the selected volume.
 - ステータス: 正常 (Status: Normal)
 - システムボリューム: いいえ (System volume: No)
 - 初期化: いいえ (Initialization: No)
 - ボリューム名の変更 (Change volume name)
 - ボリュームの削除 (Delete volume)
 - 初期化 (Initialize)
 - タイプ: RAID 1 (Type: RAID 1)
 - タイプの変更 (Change type)
 - サイズ: 954 GB (Size: 954 GB)
 - 書き込みキャッシュバッファのフラッシュ (Write cache buffer flush): 有効 (Enabled)
 - キャッシュモード: 読み取り専用 (Cache mode: Read-only)
 - キャッシュモードの変更 (Change cache mode)
 - データストライプサイズ: 64 KB (Data stripe size: 64 KB)
 - 物理セクターサイズ: 512 Bytes (Physical sector size: 512 Bytes)
 - 論理セクターサイズ: 512 Bytes (Logical sector size: 512 Bytes)
 - Buttons:** "再スキャン" (Rescan) button is located at the bottom right of the component list.

Create RAID Volume

RAID ボリュームを作成します。

詳しくは、[\[ボリュームを作成する\]](#)を参照してください。

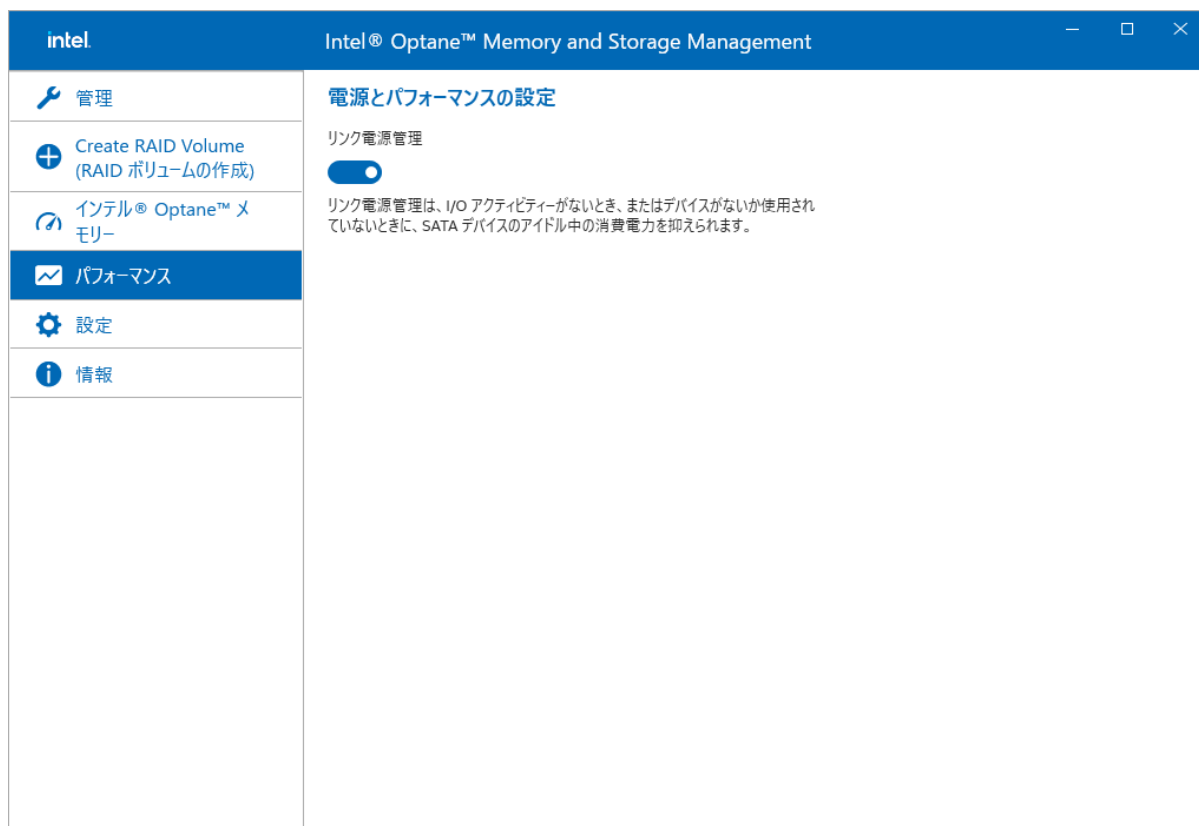


インテル Optane メモリー

この機能は非サポートです。

パフォーマンス

SATA デバイスのリンク電源管理の有効/無効を設定します。



設定

Intel Optane Memory and Storage Management アプリケーションの設定を変更します。
以下の設定をします。

- 通知設定
 - 最新情報ウィンドウの状態
 - ホットプラグでの自動再構築
 - メール通知
- 詳しくは、[[メール通知を有効にする](#)]を参照してください。



情報

Intel Optane Memory and Storage Management アプリケーションの各種情報を表示します。



スペア機能

スペア機能は非サポートです。

ボリュームの作成

ボリュームの作成における Intel Optane Memory and Storage Management の利用方法を説明します。



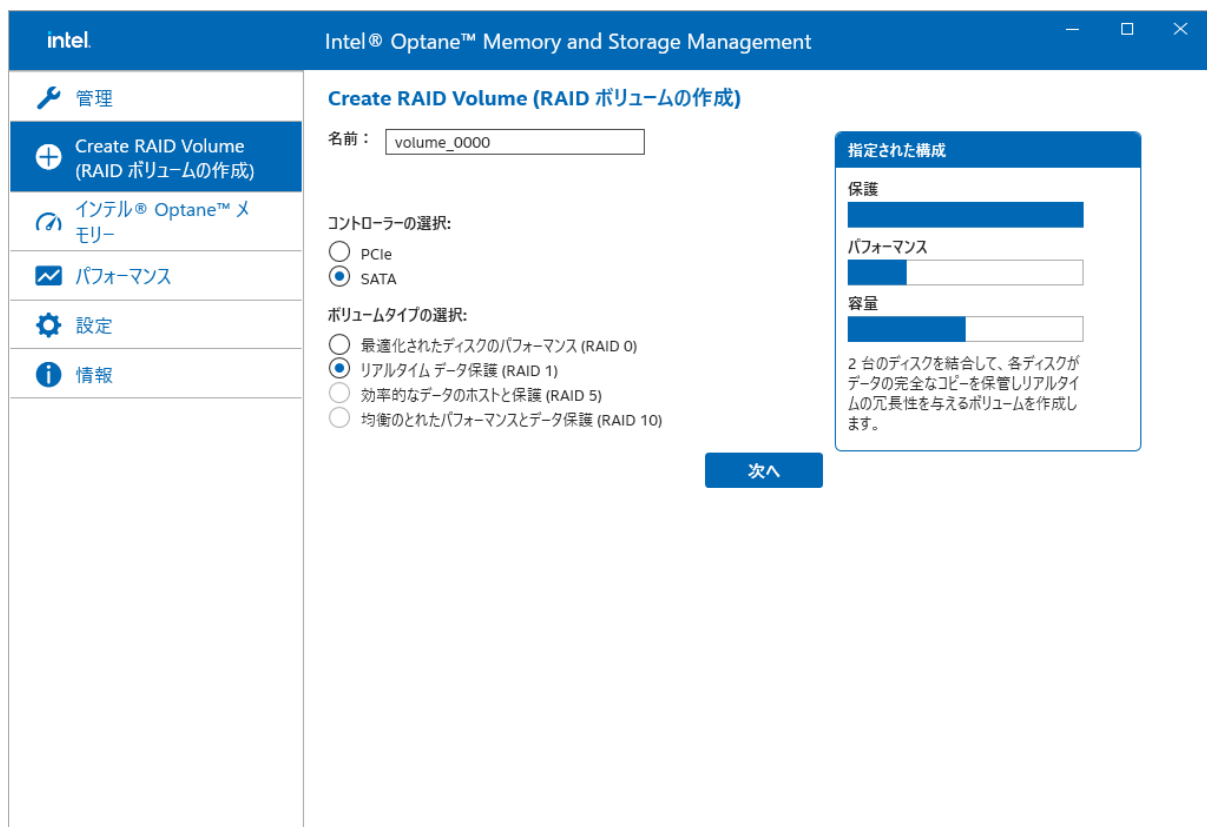
注記:

[ボリュームを作成するためには、同じコントローラーに接続された複数のドライブが必要です。]

ボリュームを作成する

次の手順でボリュームを作成します。

1. 左アイコンから[Create RAID Volume]メニューを選択します。



- [名前:]でボリュームの名前を指定します。
- [コントローラーの選択:]からボリュームを作成するコントローラーを選択します。



注記:

[コントローラーの選択:]では、ボリュームを作成可能なコントローラーを選択できます。

- [ボリュームタイプの選択:]から作成するボリュームのボリュームタイプを選択します。



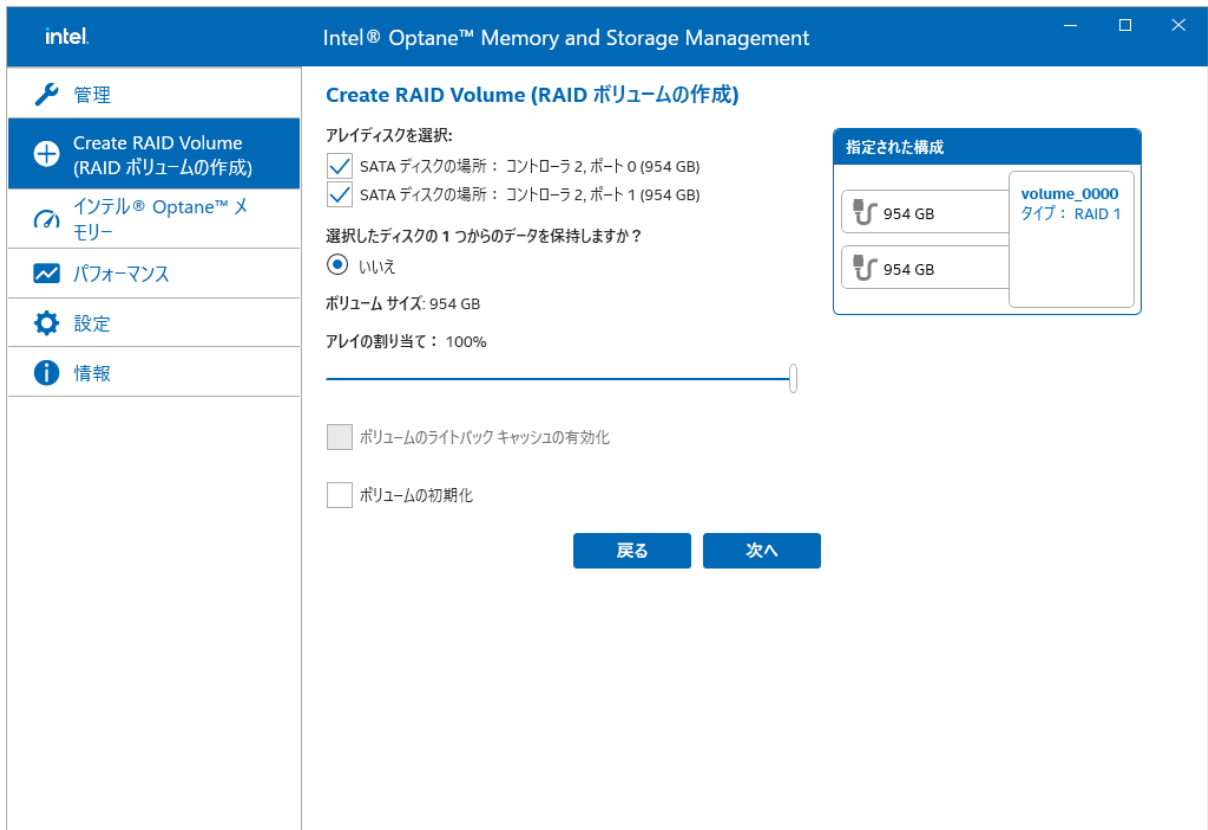
注記:

サポートするボリュームタイプは、RAID1 です。

- [次へ]を選択して先に進みます。

2. 次のページで以下の設定をします。

- [アレイディスクを選択:]で利用するドライブのチェックボックスにチェックを入れます。
- [ボリュームサイズ:]でボリュームのサイズを確認します。
[アレイの割り当て:]のスライダーを使用して任意のサイズに変更します。
- [ボリュームの初期化]を選択すると、ボリューム作成時にボリュームを初期化します。
- [次へ]を選択して先に進みます。



注記:

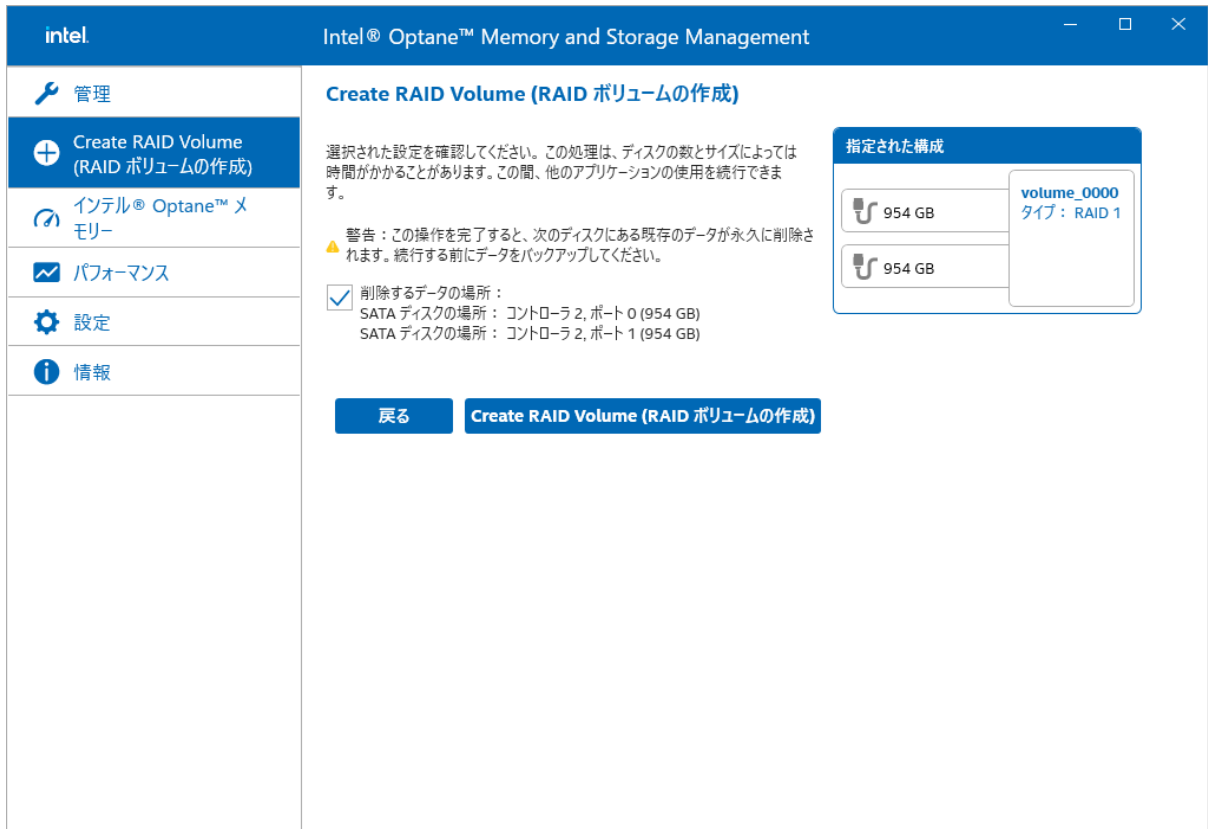
[ボリュームのライトバックキャッシュの有効化]は、ボリューム作成後に設定可能です。
詳しくは、[\[キャッシュモードをライトバックに変更\]](#)を参照してください。



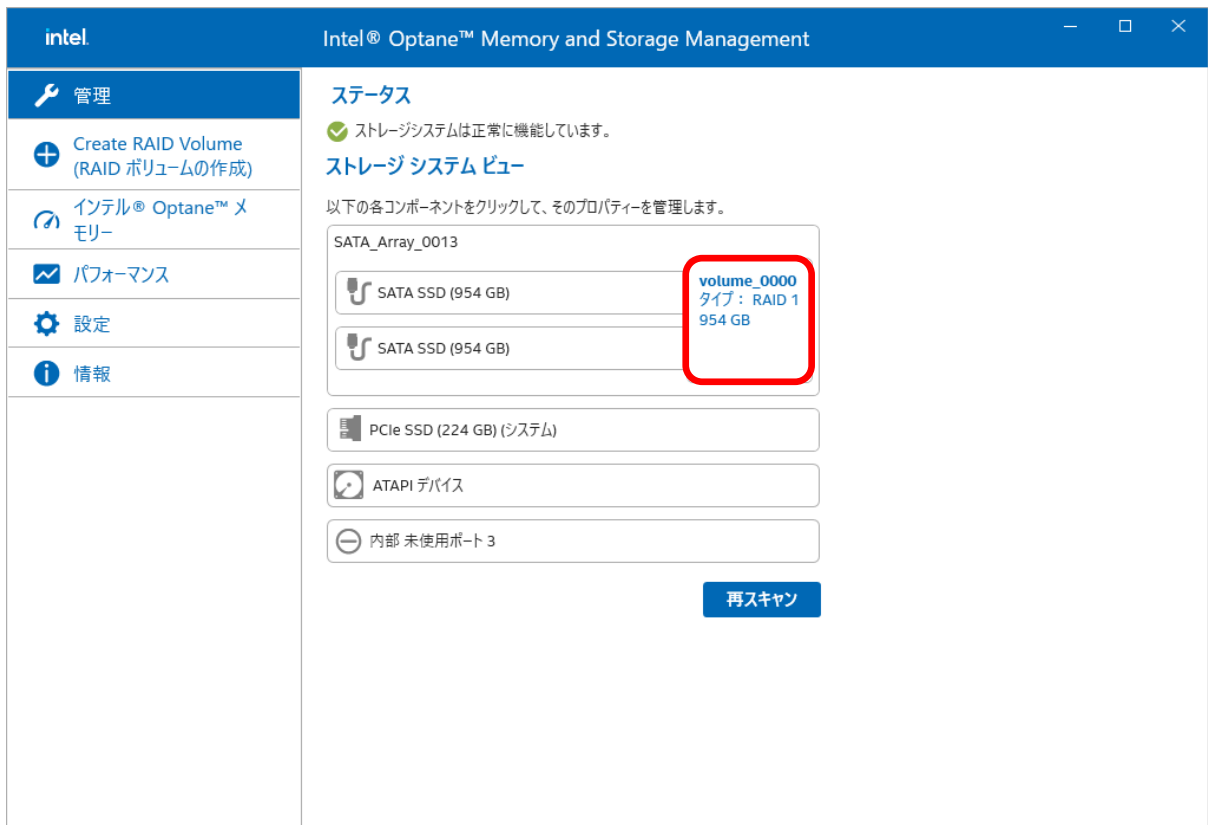
注記:

[ボリュームの初期化]を実行した場合、ディスク容量に応じて完了までの時間が変わります。
(目安)
・512GB SSD : 約 4 時間
・1TB SSD : 約 8 時間

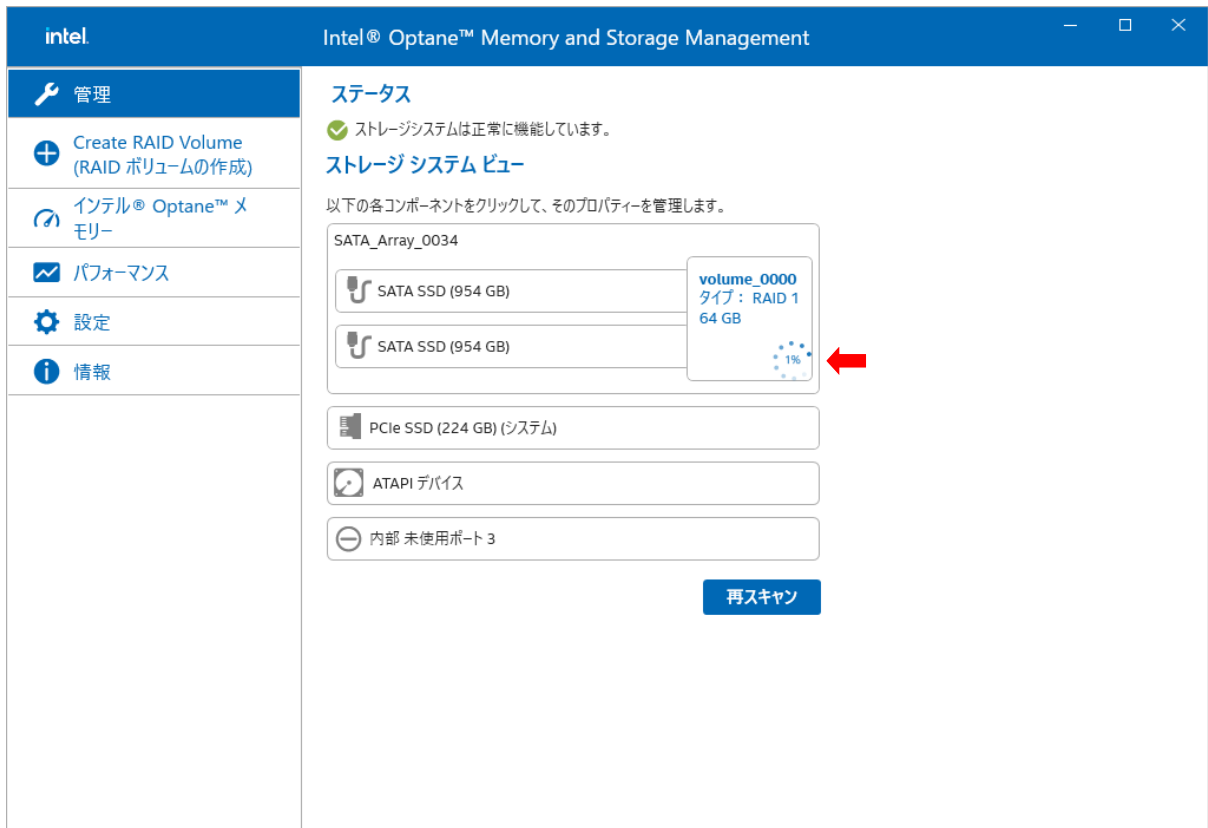
- ボリュームの設定を確認します。
[削除するデータの場所:]を確認して、チェックボックスにチェックを入れます。
その後、[Create RAID Volume]を選択してボリュームを生成します。



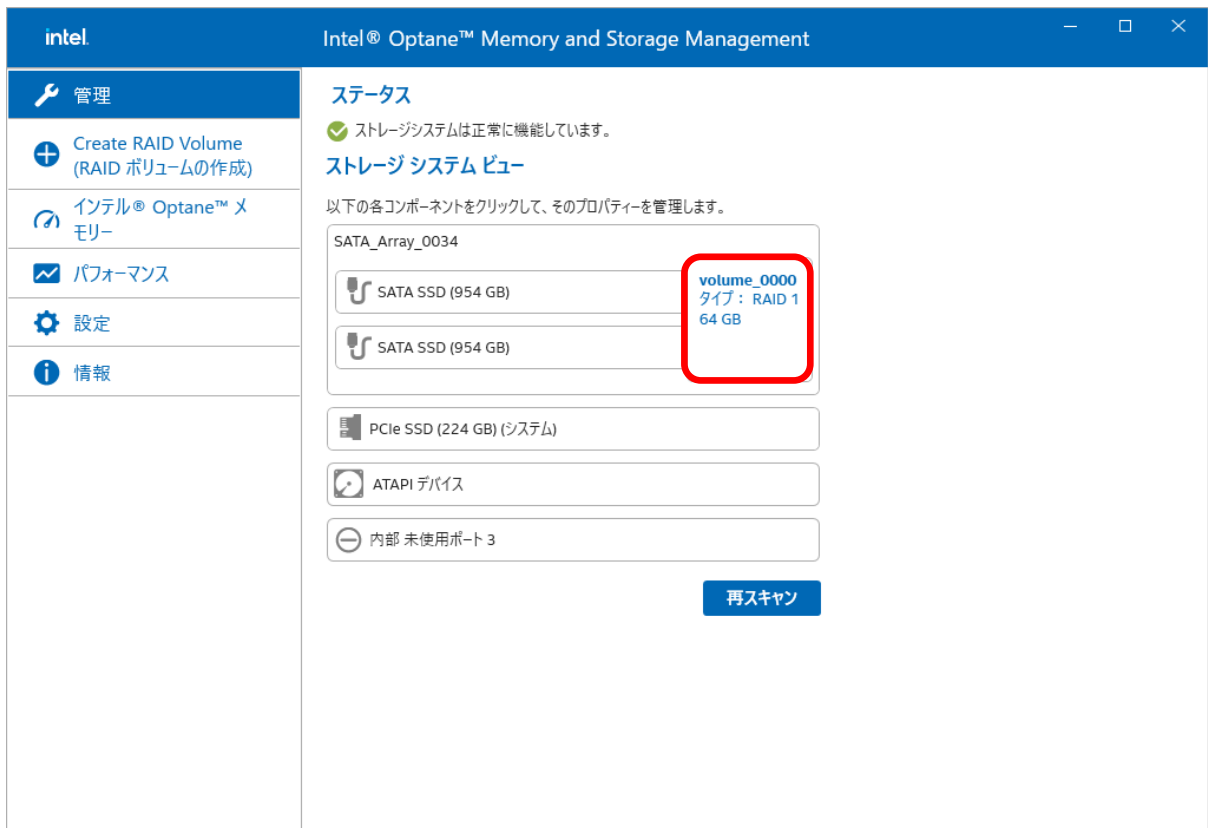
- GUI が[管理]メニューに遷移します。新しいボリューム(赤枠部分)が表示されます。



5. 手順 2 でボリュームの初期化を選択した場合、初期化の進捗が表示されます(赤矢印部分)。



6. 初期化が完了したことを確認するには、作成したボリューム(赤枠部分)を選択します。



7. [初期化:]が[はい]になっていることを確認します(赤矢印部分)。

The screenshot shows the Intel Optane Memory and Storage Management interface. On the left is a navigation menu with options: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID Volume Creation), インテル® Optane™ メモリー (Intel® Optane™ Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The main area is titled 'ステータス' (Status) and 'ストレージシステムビュー' (Storage System View). It indicates that the storage system is functioning normally. Below this, it lists storage components: SATA_Array_0034 (containing two SATA SSDs of 954 GB each), PCIe SSD (224 GB) (System), and ATAPI デバイス (ATAPI Device). A '再スキャン' (Rescan) button is present. A detailed view for 'volume_0000' is shown on the right, listing properties: Status: Normal, System Volume: Yes, Initialization: Yes (highlighted with a red arrow), Volume Name Change, Volume Deletion, Volume Verification, Type: RAID 1, Type Change, Size: 64 GB, Size Increase, Write Cache Flush (checked), Cache Mode: Read-Only, Cache Mode Change, Data Stripe Size: 64 KB, Physical Sector Size: 512 Bytes, Logical Sector Size: 512 Bytes.

追加ボリュームの作成

次の手順で、既存のアレイにボリュームを追加します。



注記:

追加できるボリュームの数は、1つです。

追加ボリュームは、サイズ指定できません。残りの使用可能な容量でボリュームを追加します。

1. [管理]メニューから、ボリュームを追加したいアレイ(赤枠部分)を選択します。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージシステムビュー

以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0017

SATA SSD (954 GB) volume_0000
タイプ: RAID 1
477 GB

SATA SSD (954 GB)

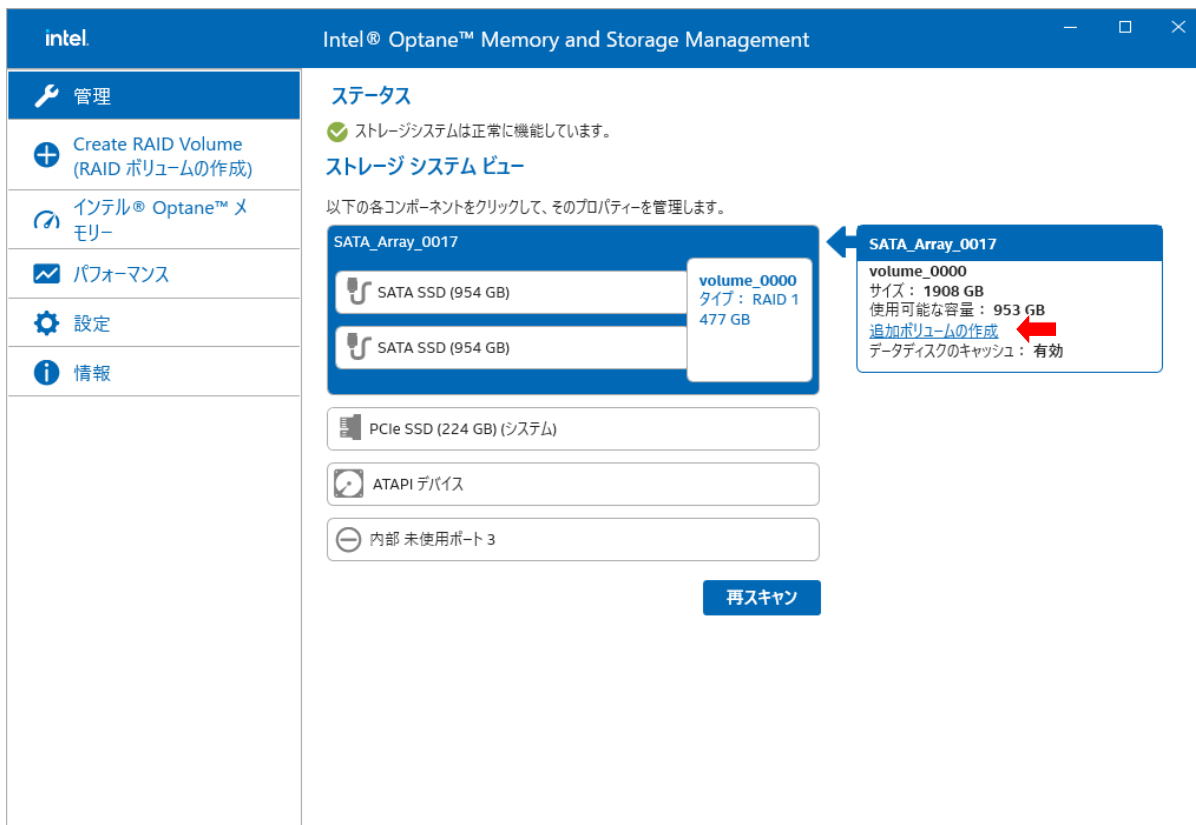
PCIe SSD (224 GB) (システム)

ATAPI デバイス

内部 未使用ポート 3

再スキャン

2. アレイの右に表示されたメニュー内から[追加ボリュームの作成](赤矢印部分)を選択します。

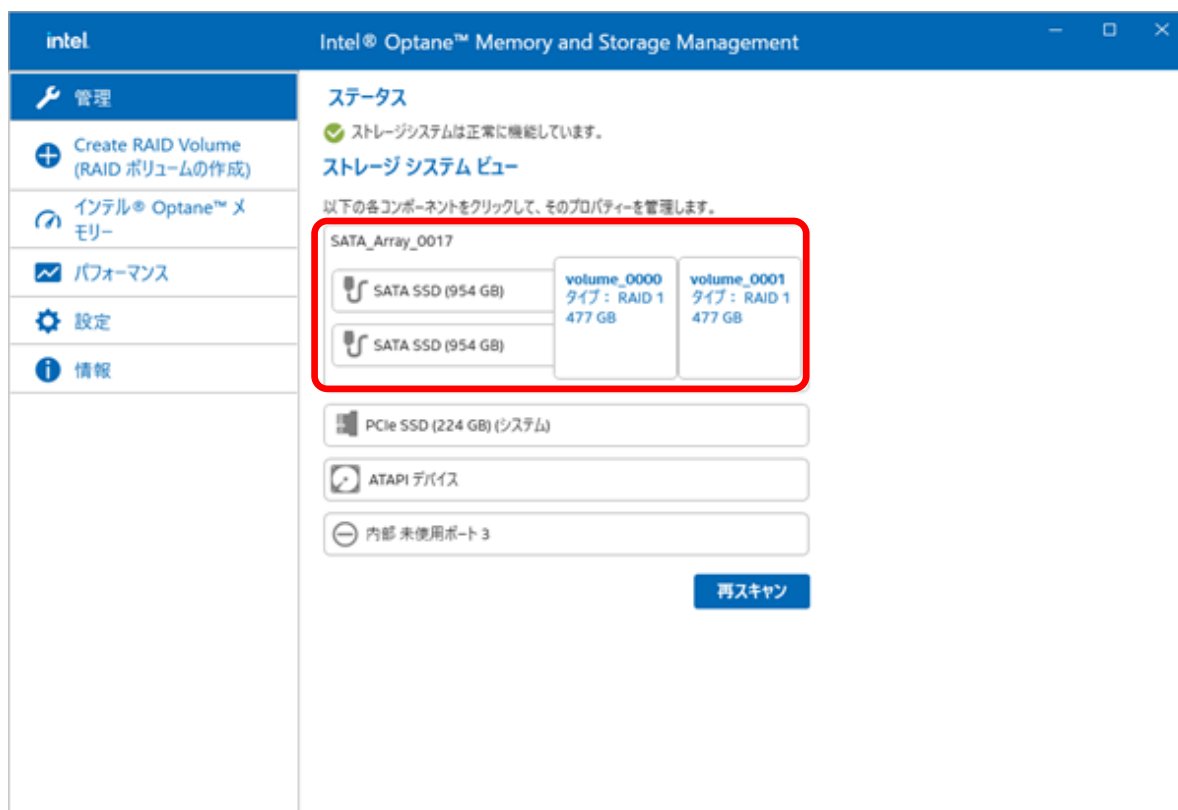


3. 作成したいボリュームの設定をします。

- [名前:]でボリュームの名前を指定します。
- [ボリュームタイプの選択:]から作成するボリュームのボリュームタイプを選択します。
- [Create RAID Volume] を選択してボリュームを生成します。



4. GUI が[管理]メニューに遷移します。新しいボリュームが表示されます。



ボリュームの初期化

次の手順で、ボリュームを初期化します。



注記:

RAID1 でのみ、ボリュームの初期化が可能です。



注記:

[ボリュームの初期化]を実行した場合、ディスク容量に応じて完了までの時間が変わります。
(目安)

・512GB SSD : 約 4 時間

・1TB SSD : 約 8 時間

1. [管理]メニューから、初期化したいボリューム(赤枠部分)を選択します。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

- Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)
- インテル® Optane™ メモリー
- パフォーマンス
- 設定
- 情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージシステムビュー

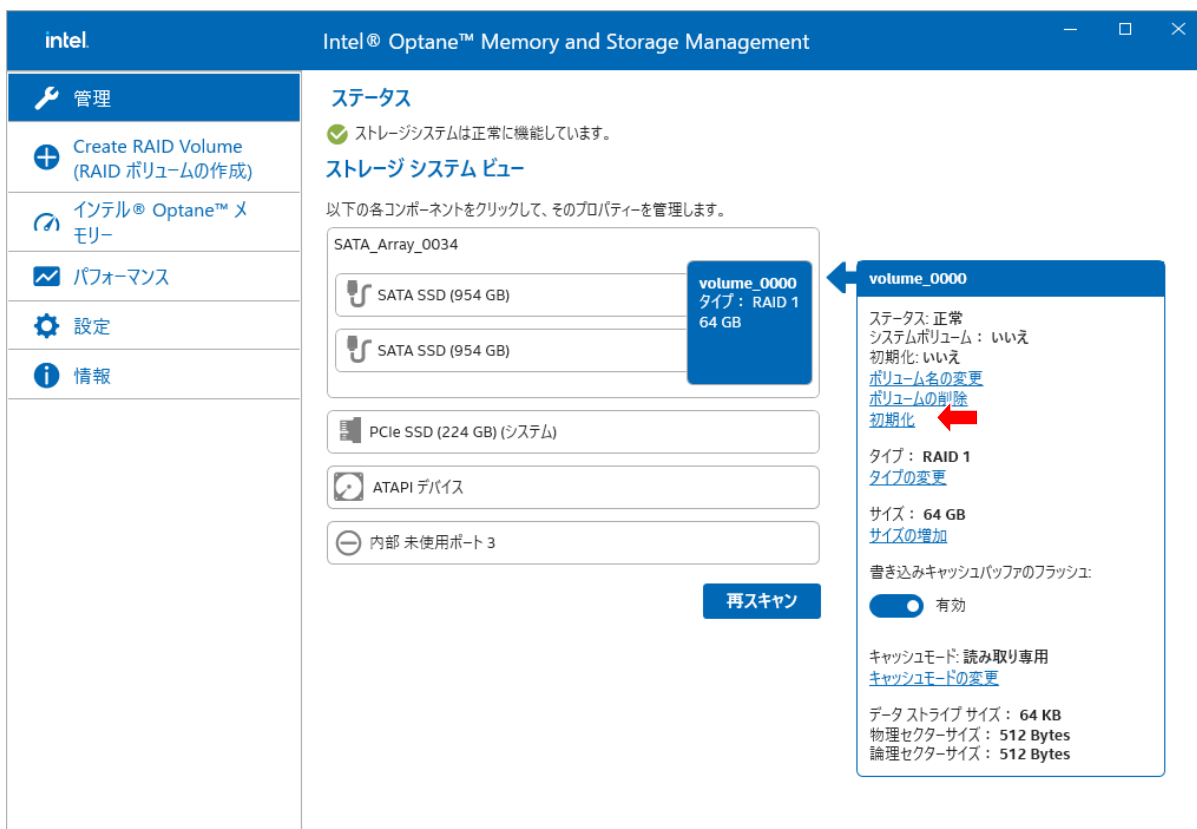
以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0034

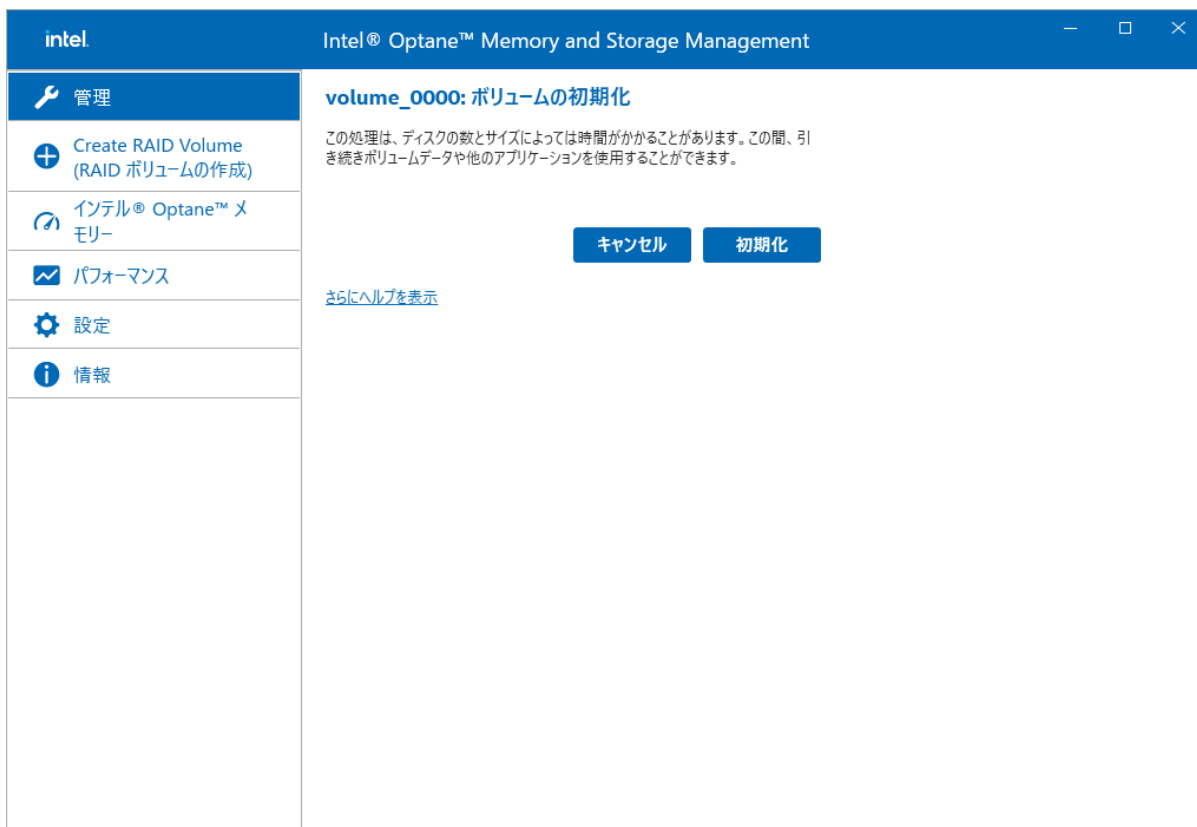
- SATA SSD (954 GB) volume_0000
タイプ: RAID 1
64 GB
- SATA SSD (954 GB)
- PCIe SSD (224 GB) (システム)
- ATAPI デバイス
- 内部 未使用ポート 3

再スキャン

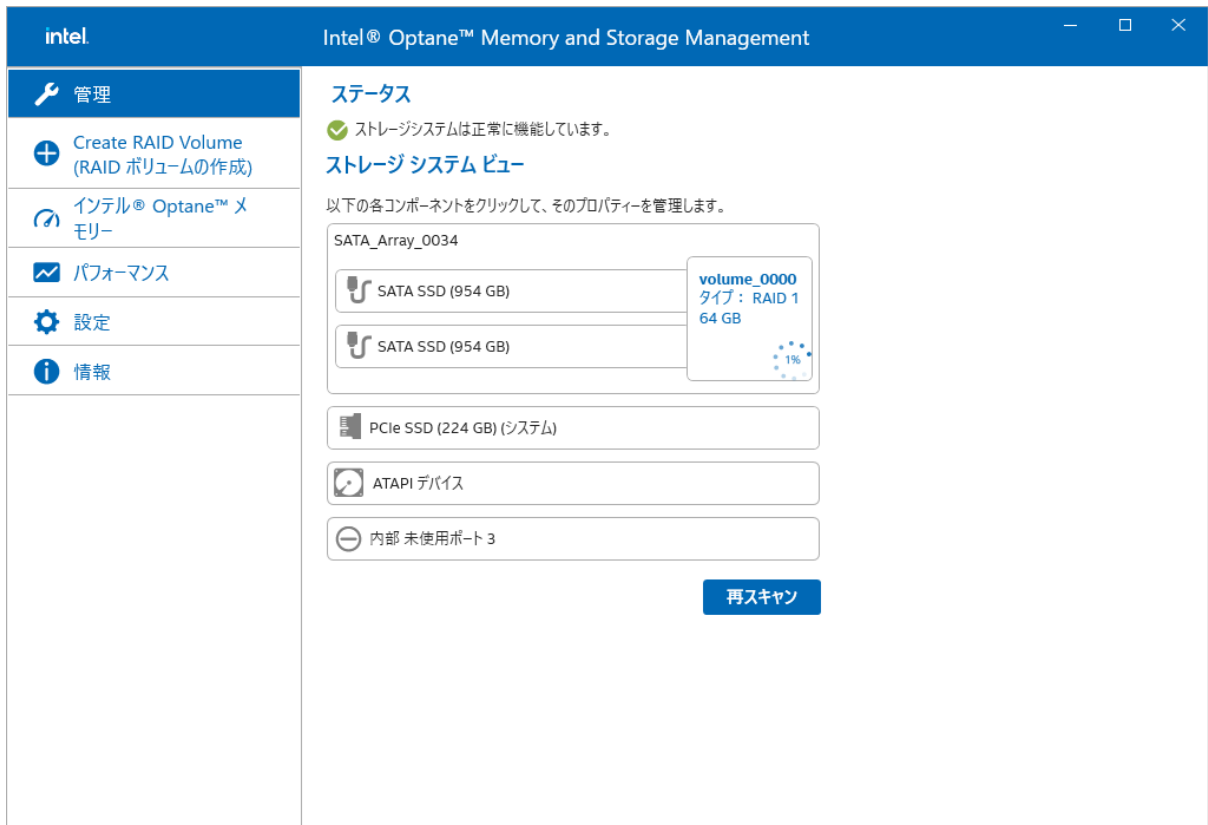
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[初期化] (赤矢印部分)を選択します。



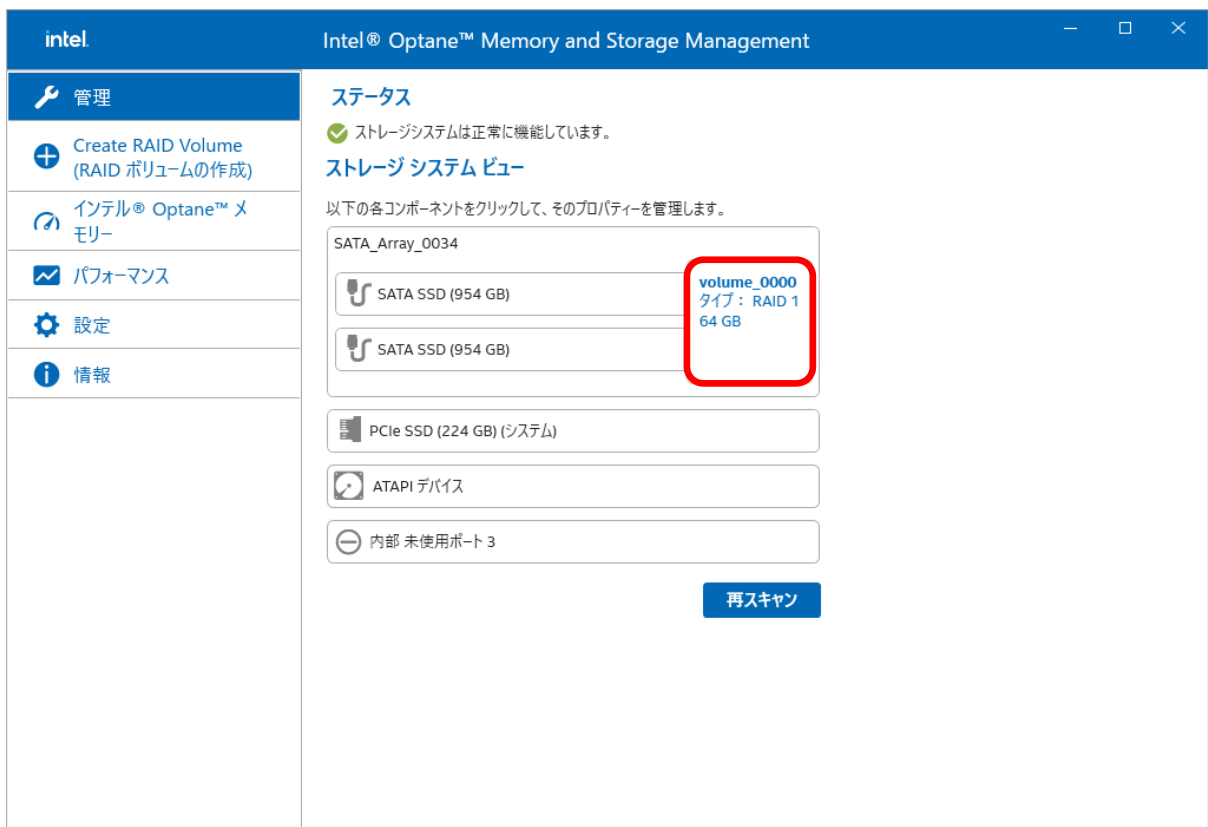
3. [初期化]を選択してボリュームの初期化を開始します。



4. GUI が[管理]メニューに遷移します。初期化の進捗が表示されます(赤矢印部分)。



5. 初期化が完了したことを確認するには、初期化したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



6. ボリュームの右に表示されたメニュー内の [初期化:] (赤矢印部分)が[はい]になっていることを確認します。

The screenshot shows the Intel Optane Memory and Storage Management application window. The left sidebar contains navigation options: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID volume creation), インテル® Optane™ メモリー (Intel Optane Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The main area is titled 'ステータス' (Status) and 'ストレージシステムビュー' (Storage System View). It displays the status of the storage system as '正常' (Normal) and lists the components of the RAID system. A RAID 1 volume named 'volume_0000' is highlighted, showing it is composed of two SATA SSDs (954 GB each). The volume properties are: Type: RAID 1, Size: 64 GB, Cache Mode: Read-Only, Data Stripe Size: 64 KB, Physical Sector Size: 512 Bytes, Logical Sector Size: 512 Bytes. The '初期化:' (Initialize) option is set to 'はい' (Yes), indicated by a red arrow. Other options include 'システムボリューム: いいえ' (System Volume: No), 'ボリューム名の変更' (Change Volume Name), 'ボリュームの削除' (Delete Volume), and 'ボリュームの検証' (Verify Volume). A '再スキャン' (Rescan) button is located at the bottom right of the volume details.

ボリュームサイズの増加

次の手順で、ボリュームサイズを増やします。



注記:

アレイの使用可能な容量が十分大きいときに、ボリュームサイズを増加できます。

1. [管理]メニューから、ボリュームサイズを増加させたいアレイ(赤枠部分)を選択します。

intel. Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

- Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)
- インテル® Optane™ メモリー
- パフォーマンス
- 設定
- 情報

ステータス

✓ ストレージシステムは正常に機能しています。

ストレージ システム ビュー

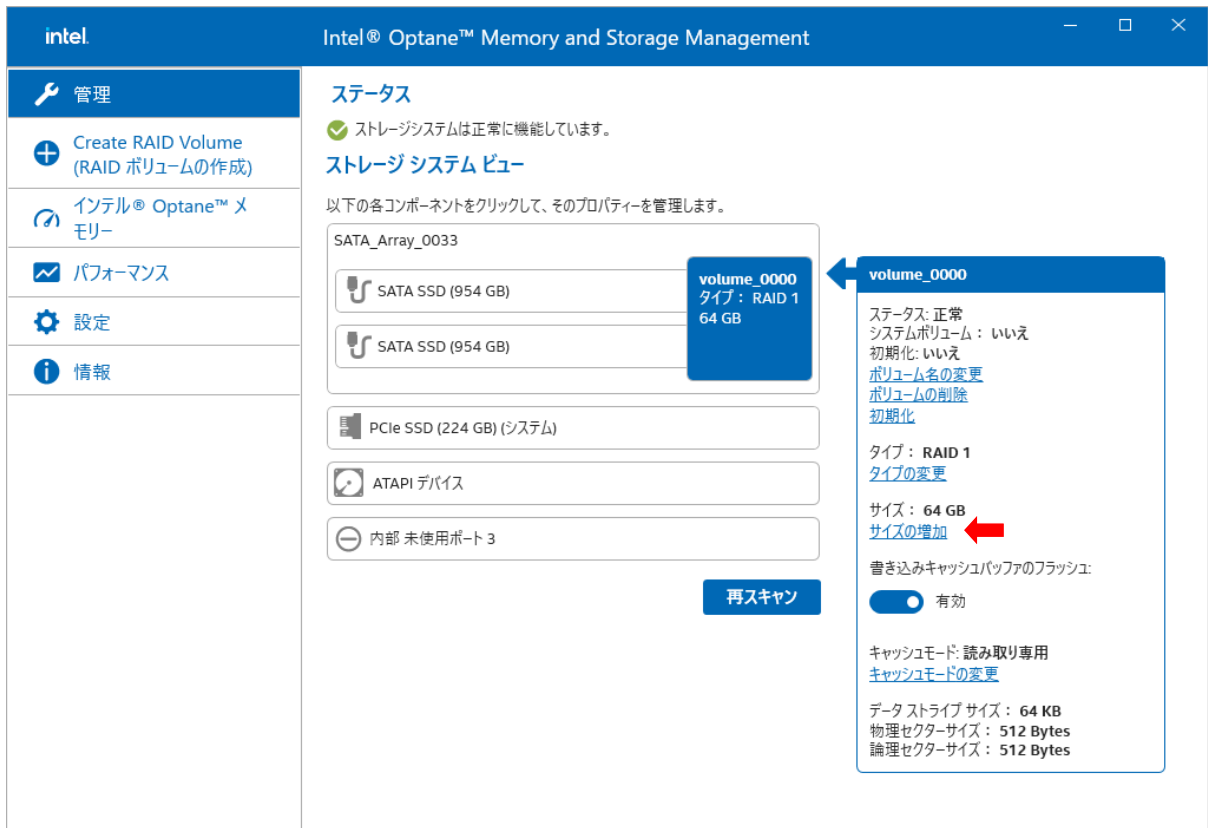
以下の各コンポーネントをクリックして、そのプロパティを管理します。

SATA_Array_0033

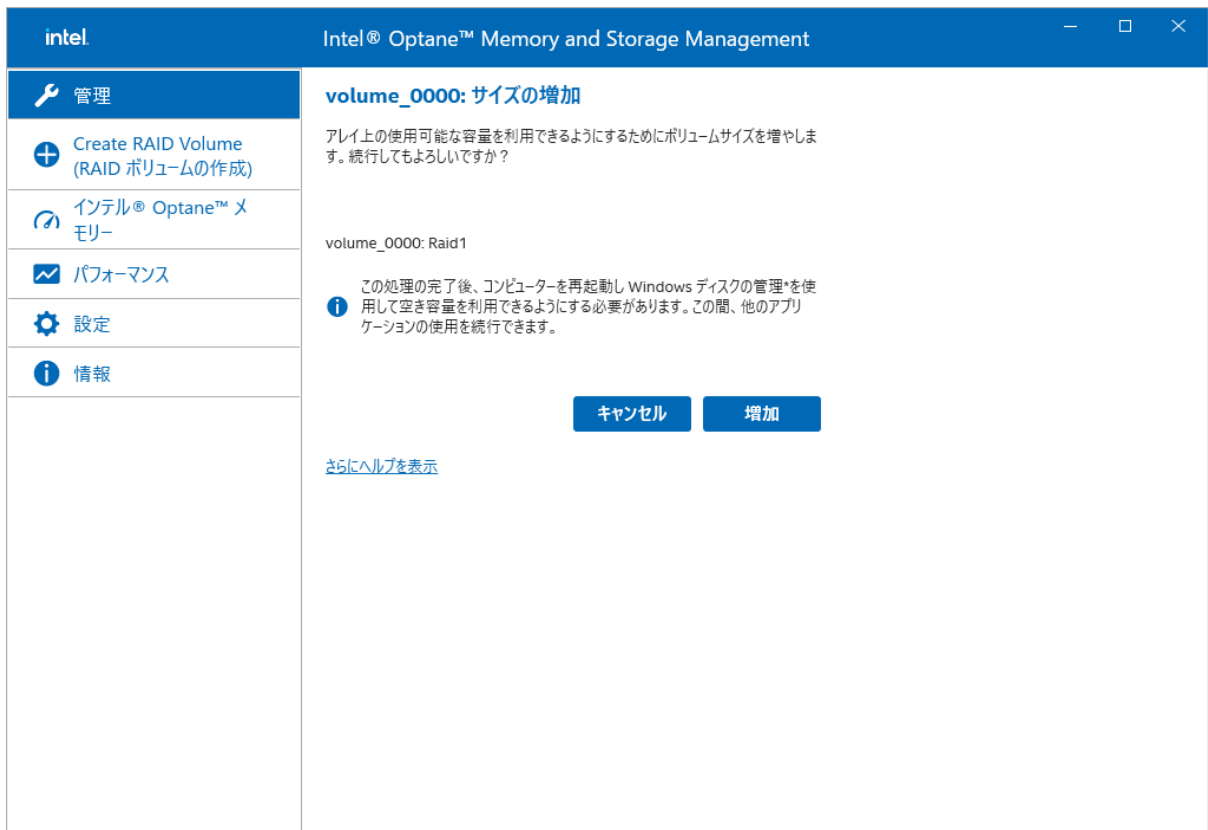
- SATA SSD (954 GB) volume_0000
タイプ: RAID 1
64 GB
- SATA SSD (954 GB)
- PCIe SSD (224 GB) (システム)
- ATAPI デバイス
- 内部 未使用ポート 3

再スキャン

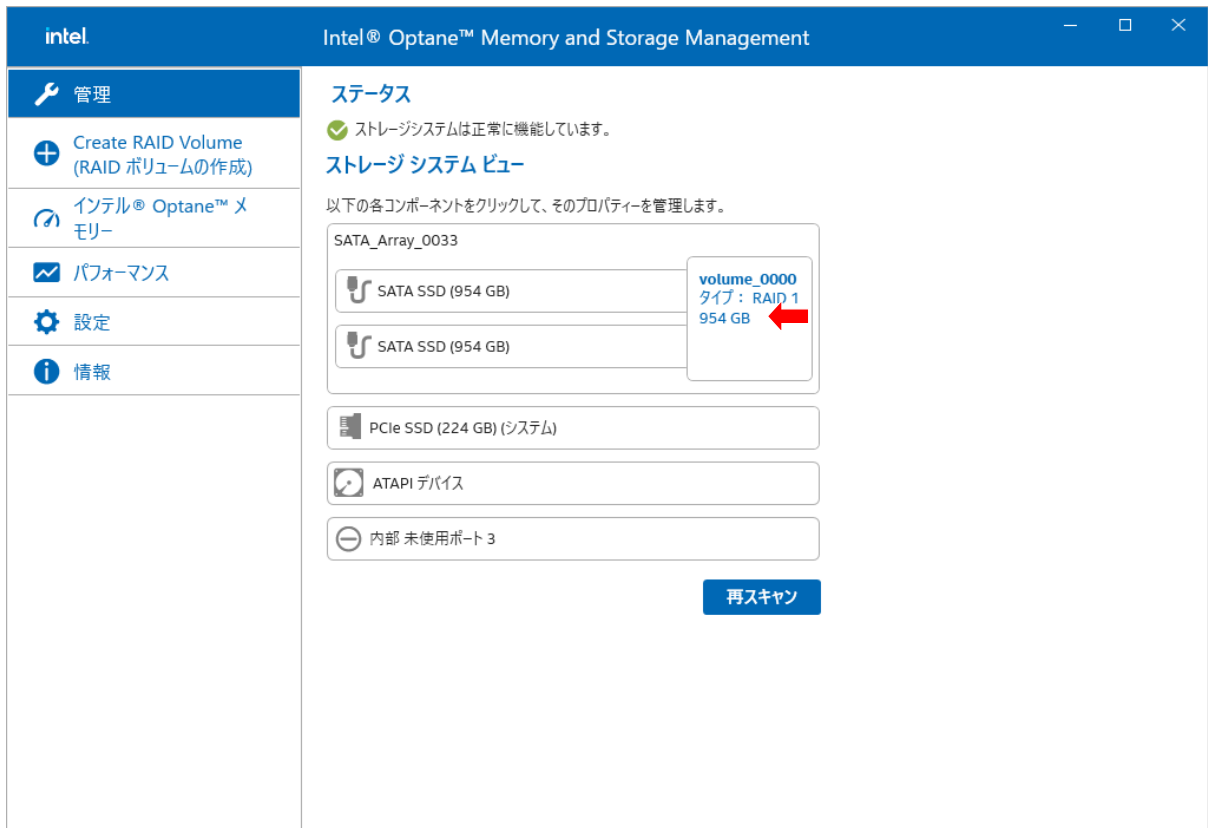
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[サイズの増加]を選択します(赤矢印部分)。



3. [増加]を選択してボリュームサイズを増やします。



4. GUI が[管理]メニューに遷移します。ボリュームサイズが増加します(赤矢印部分)。



ボリュームの削除

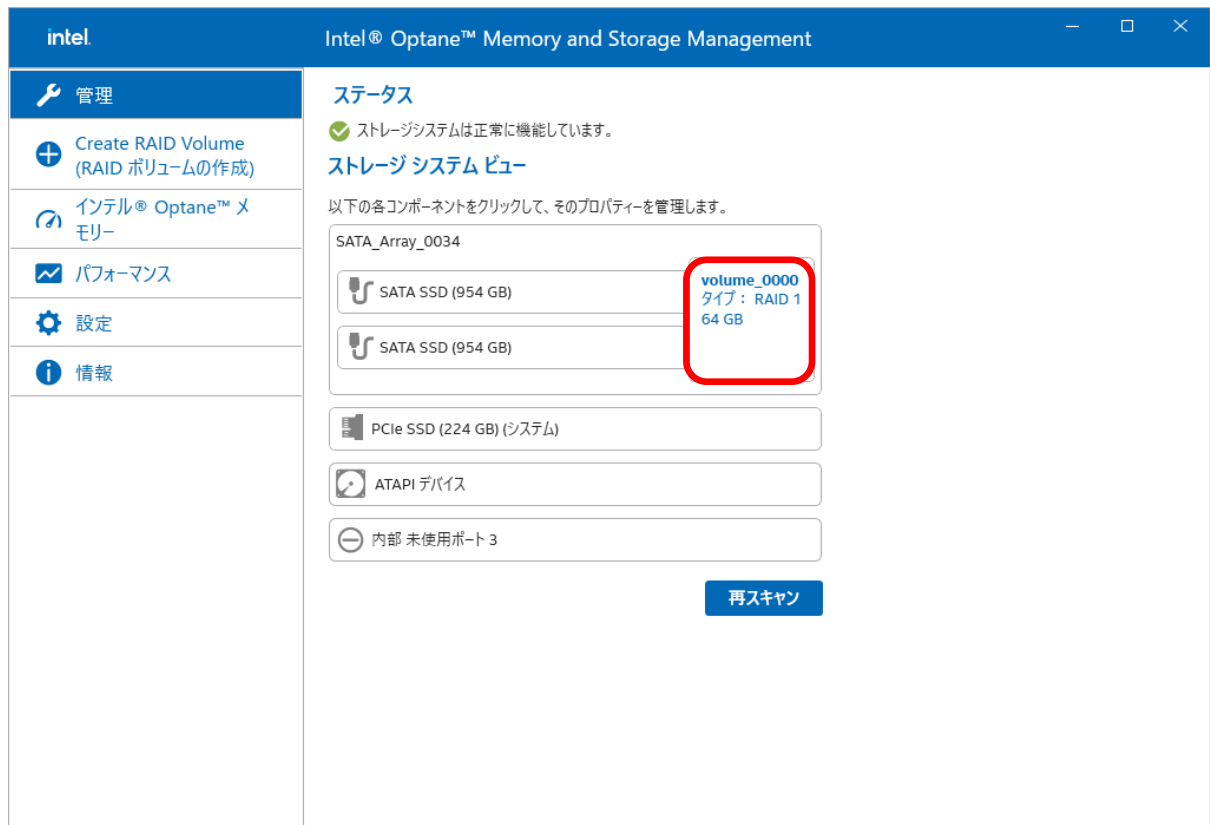
次の手順で、ボリュームを削除します。



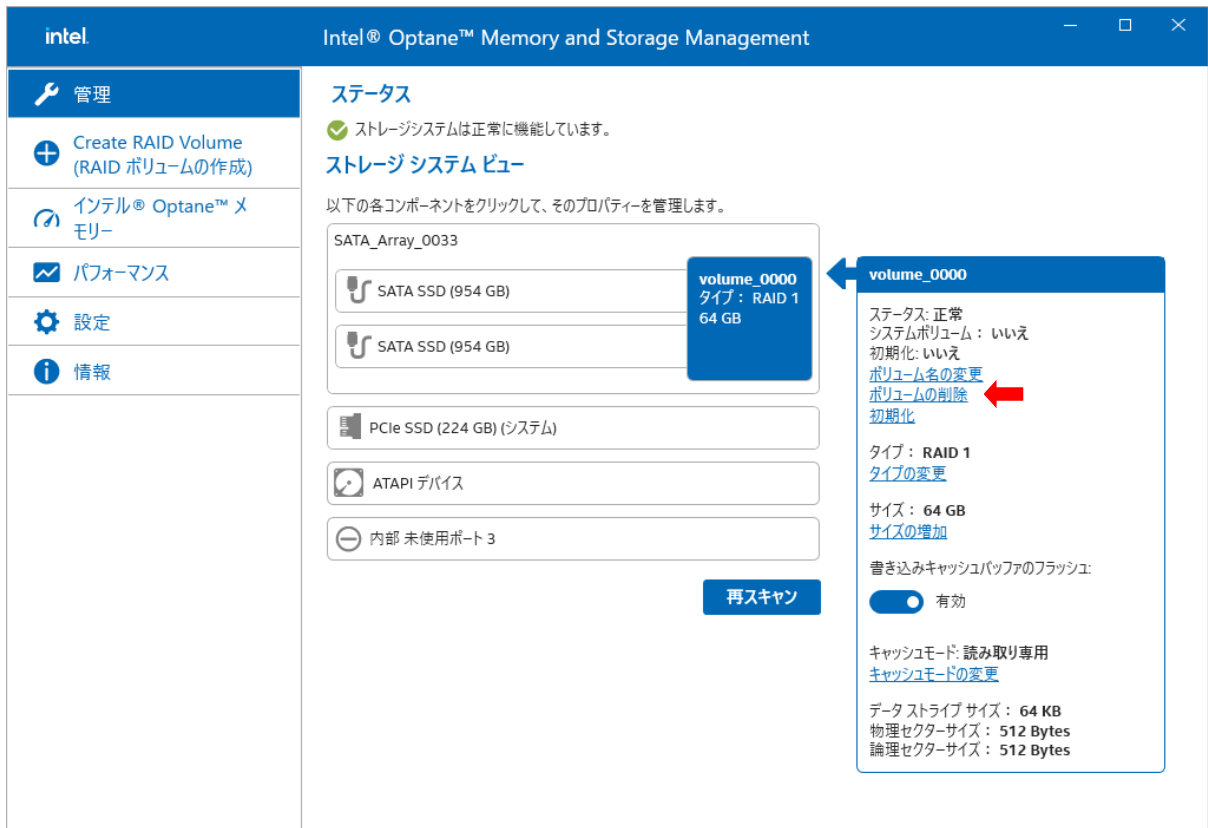
注記:

データは回復できなくなるため、ボリュームの削除は慎重に行ってください。

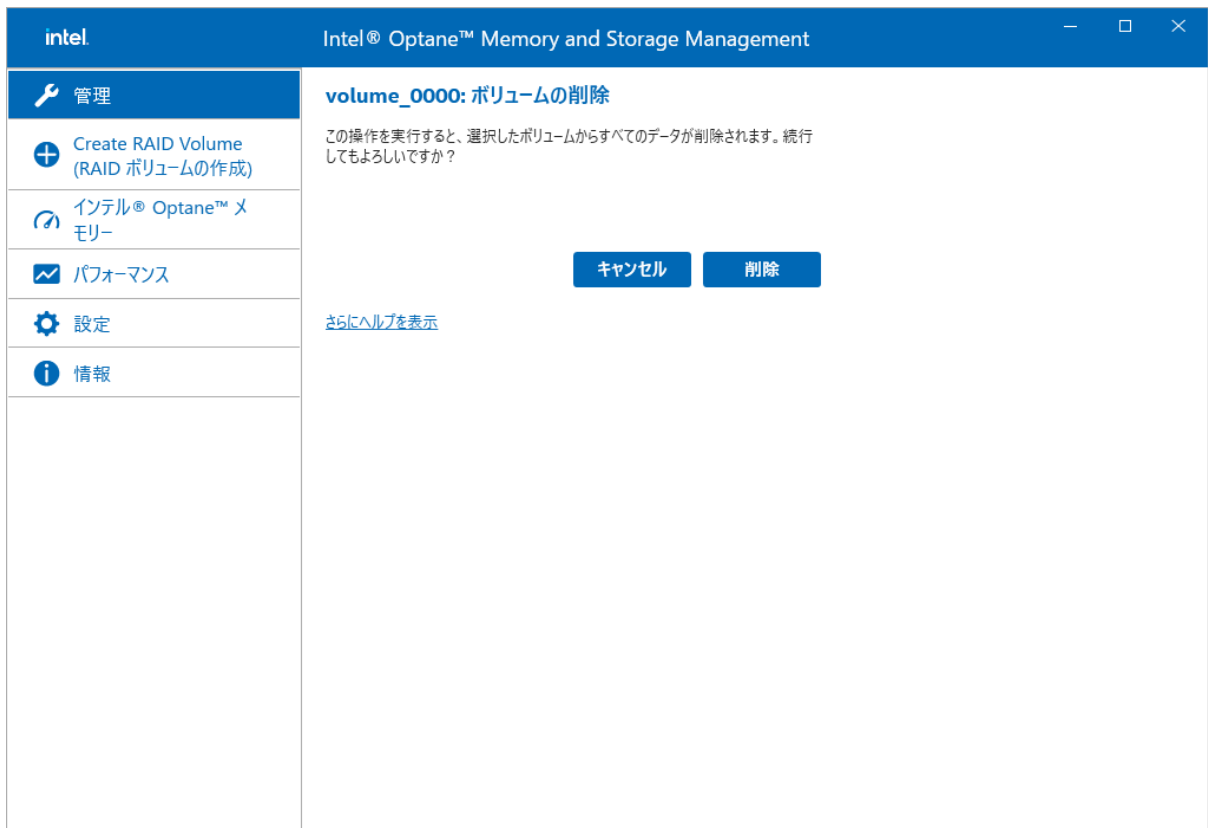
1. **[管理]**メニューから、削除したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



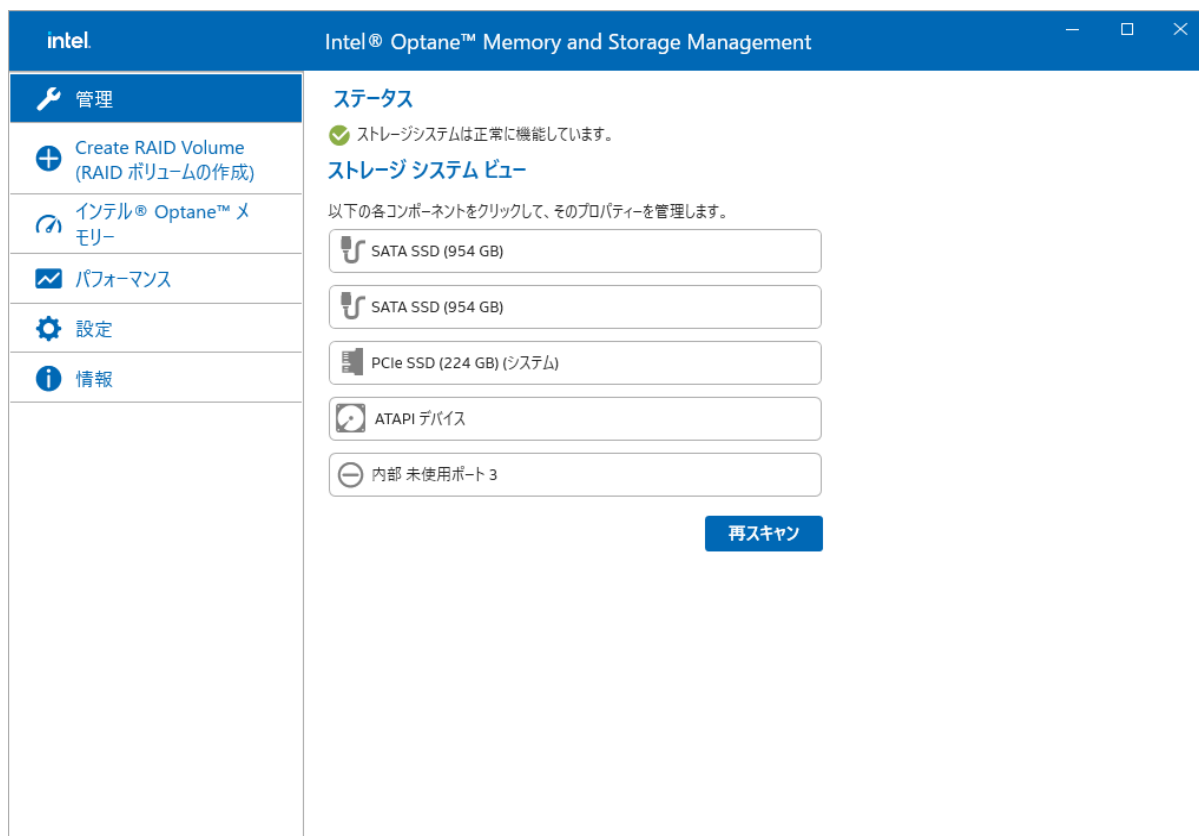
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[ボリュームの削除] (赤矢印部分)を選択します。



3. [削除]を選択してボリュームを削除します。



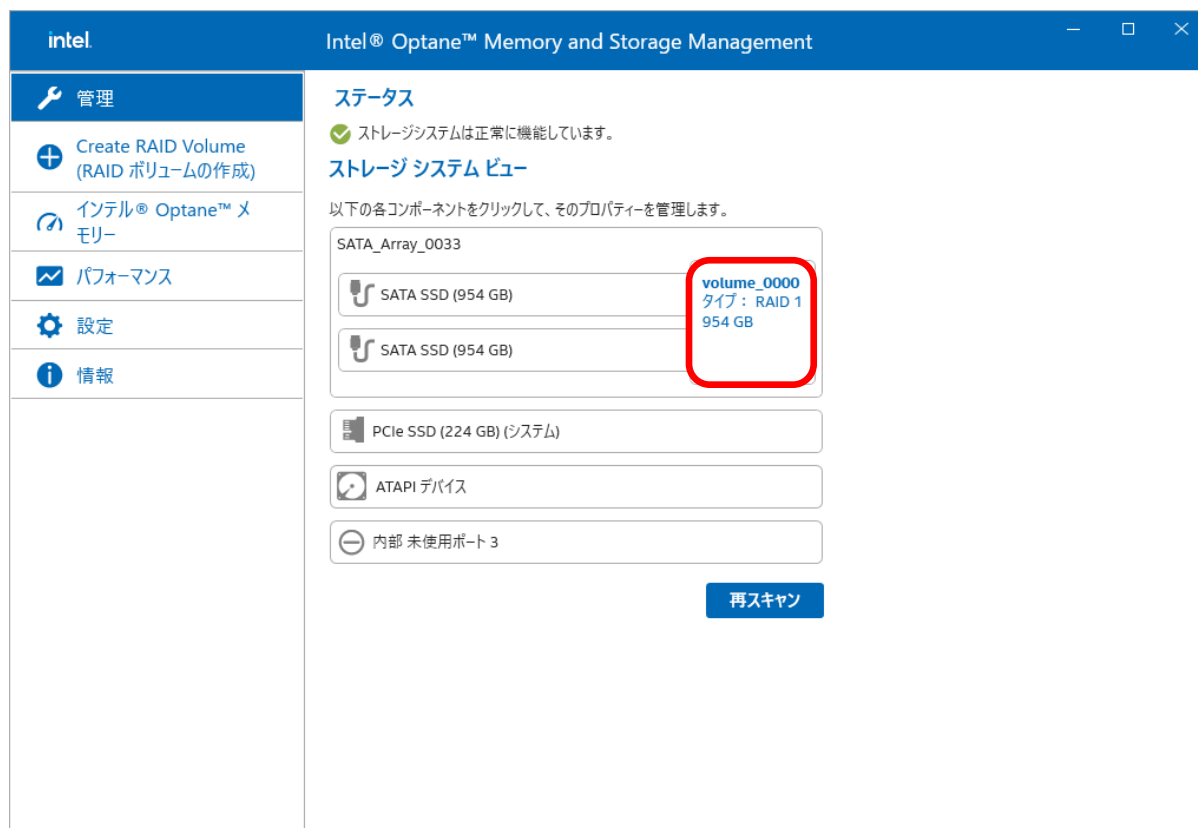
4. GUI が[管理]メニューに遷移します。ボリュームが削除されます。



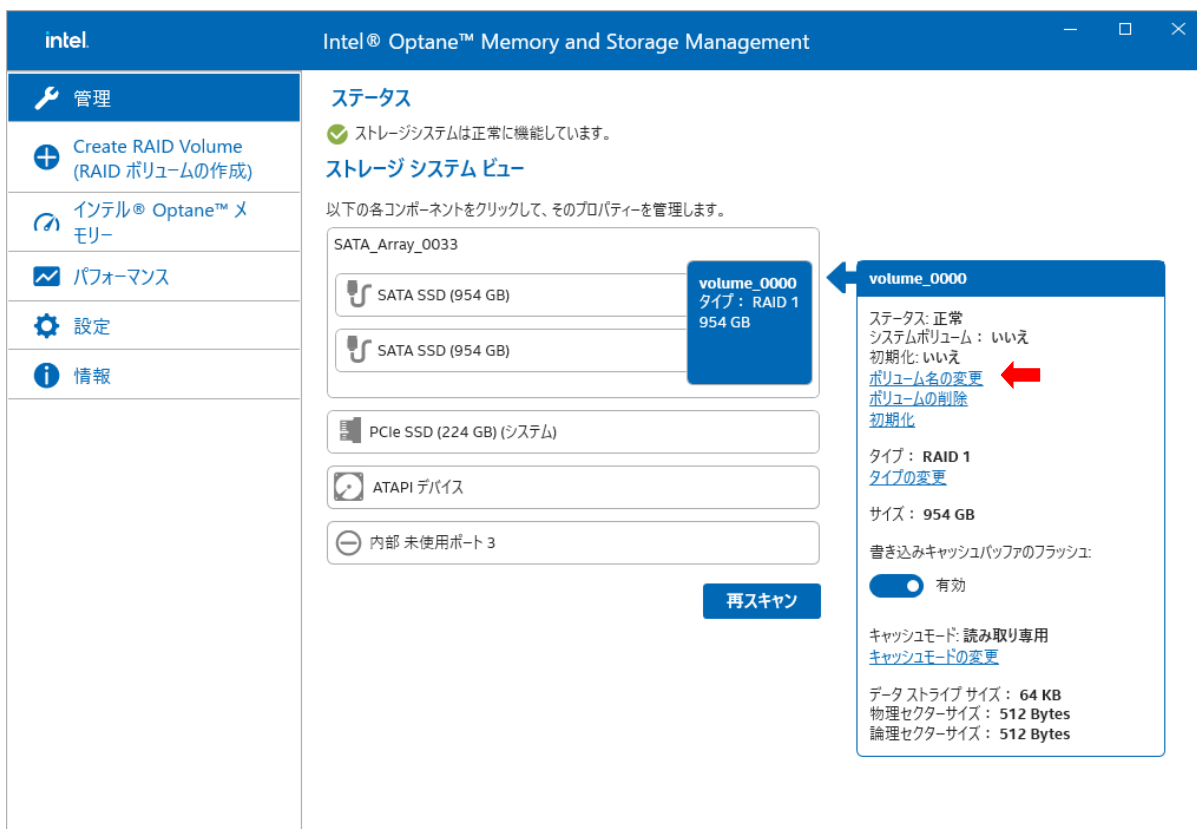
ボリューム名の変更

次の手順で、ボリューム名を変更します。

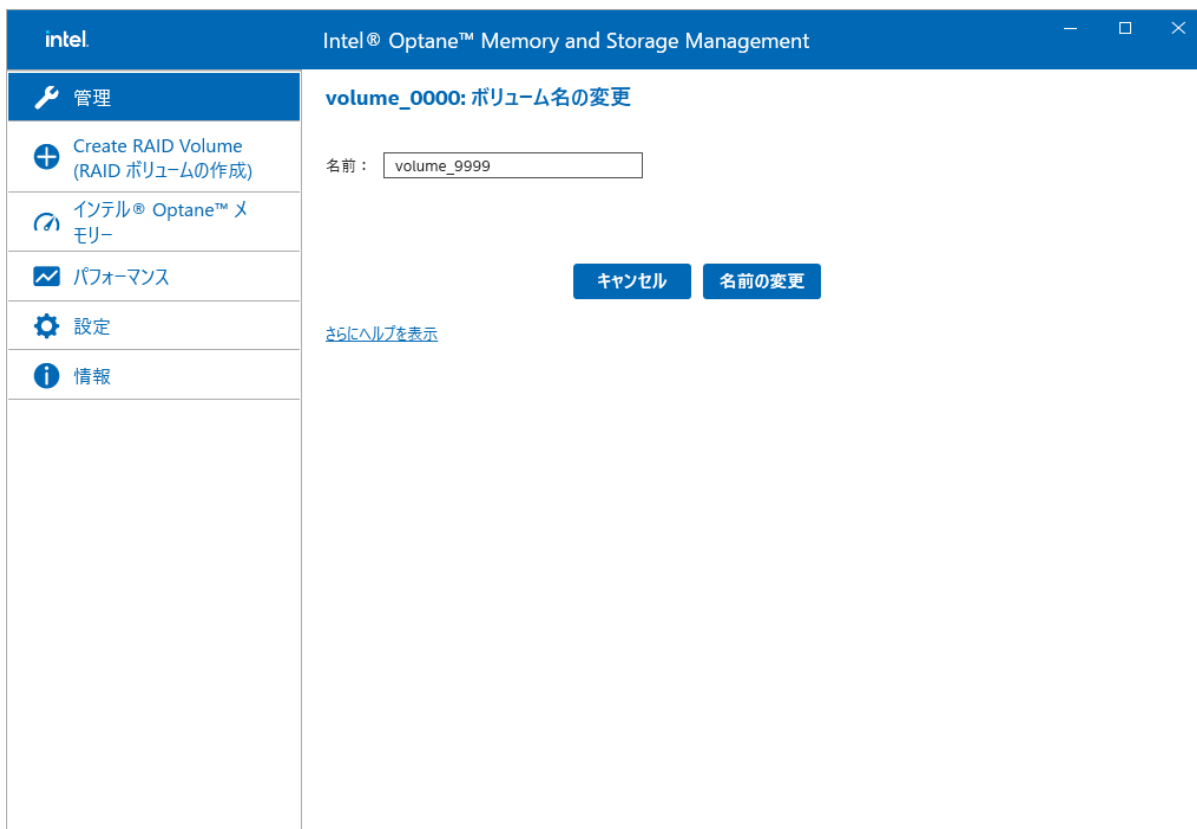
1. [管理]メニューから、ボリューム名を変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



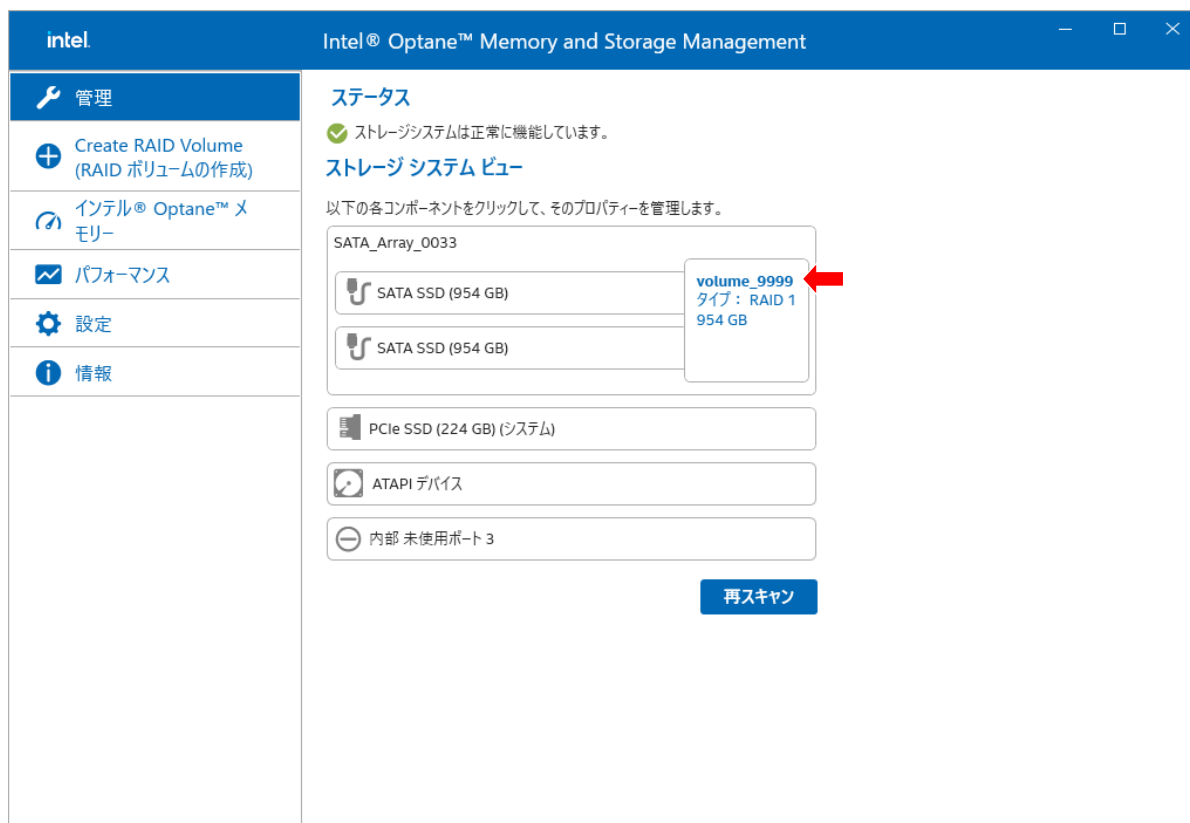
2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[ボリューム名の変更] (赤矢印部分)を選択します。



3. [名前:]で新しいボリューム名を指定します。
[名前の変更]を選択してボリューム名を変更します。



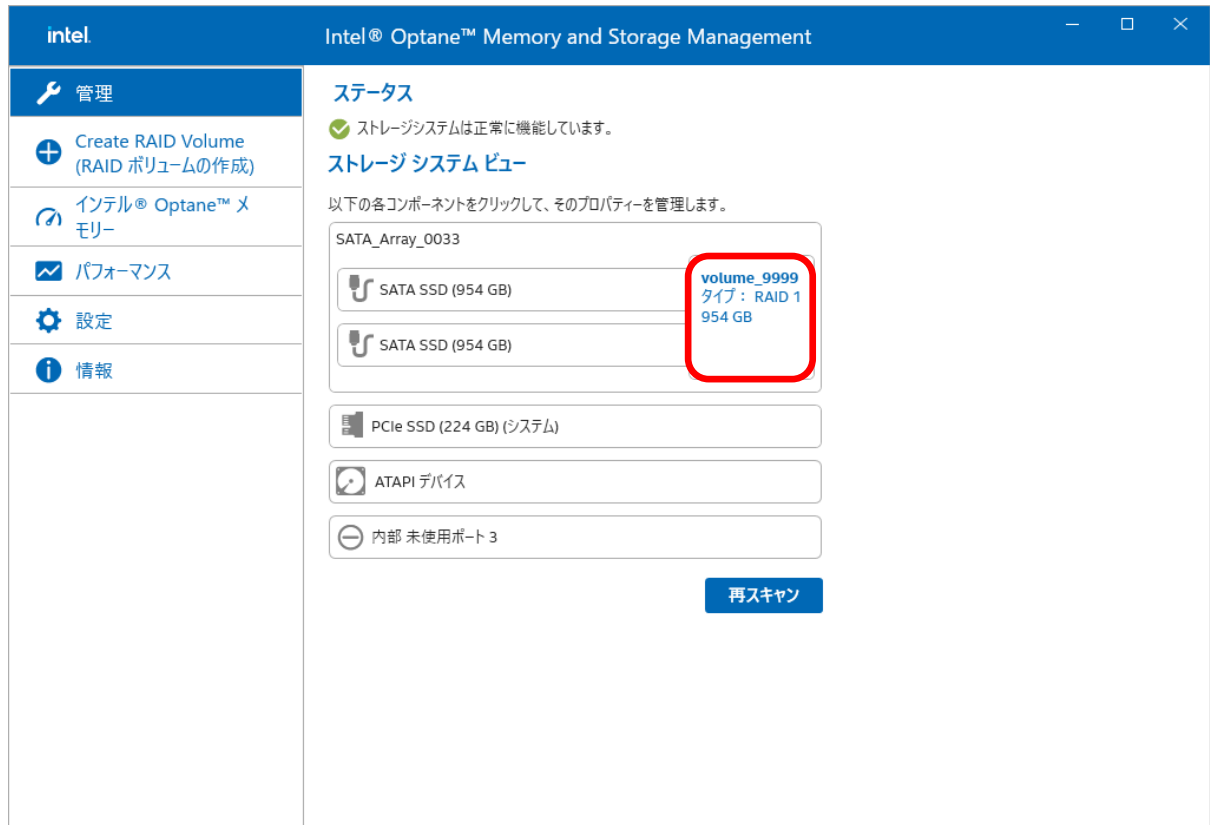
4. GUI が[管理]メニューに遷移します。ボリューム名が変更されます(赤矢印部分)。



キャッシュモードの変更

次の手順で、キャッシュモードを変更します。

1. [管理]メニューから、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[キャッシュモードの変更] (赤矢印部分)を選択します。

The screenshot shows the Intel Optane Memory and Storage Management application window. The title bar reads "intel. Intel® Optane™ Memory and Storage Management". On the left is a navigation sidebar with options: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成), インテル® Optane™ メモリー (Intel® Optane™ Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The main area is titled "ステータス" (Status) and "ストレージシステムビュー" (Storage System View). It indicates that the storage system is functioning normally. Below this, it lists storage components: SATA_Array_0033 containing two SATA SSD (954 GB) drives, a PCIe SSD (224 GB) (システム), and an ATAPI デバイス (device). A "再スキャン" (Rescan) button is at the bottom right. A blue callout box highlights the "volume_9999" RAID 1 volume (954 GB). To the right of this callout is a detailed configuration panel for "volume_9999" with the following information: ステータス: 正常 (Status: Normal), システムボリューム: いいえ (System Volume: No), 初期化: いいえ (Initialization: No), ボリューム名の変更 (Change Volume Name), ボリュームの削除 (Delete Volume), 初期化 (Initialize), タイプ: RAID 1 (Type: RAID 1), タイプの変更 (Change Type), サイズ: 954 GB (Size: 954 GB), 書き込みキャッシュバッファのフラッシュ (Write Cache Buffer Flush): 有効 (Enabled), キャッシュモード: 読み取り専用 (Cache Mode: Read-Only), and a red arrow pointing to the "キャッシュモードの変更" (Change Cache Mode) link. At the bottom of the panel, it lists: データストライプサイズ: 64 KB (Data Strip Size: 64 KB), 物理セクターサイズ: 512 Bytes (Physical Sector Size: 512 Bytes), and 論理セクターサイズ: 512 Bytes (Logical Sector Size: 512 Bytes).

3. 変更したいキャッシュモードを選択します。
[変更の保存]を選択して、キャッシュモードを変更します。



注記:

[ライトバック]を選択できない場合は、[\[キャッシュモードをライトバックに変更\]](#)を参照してください。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

- Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)
- インテル® Optane™ メモリー
- パフォーマンス
- 設定
- 情報

volume_9999: 変更の保存

アレイ上の揮発性のボリュームキャッシュにキャッシュモードを設定して、最適なパフォーマンスを達成します。

- ライトバック
- ライトスルー
- 読み取り専用
- オフ

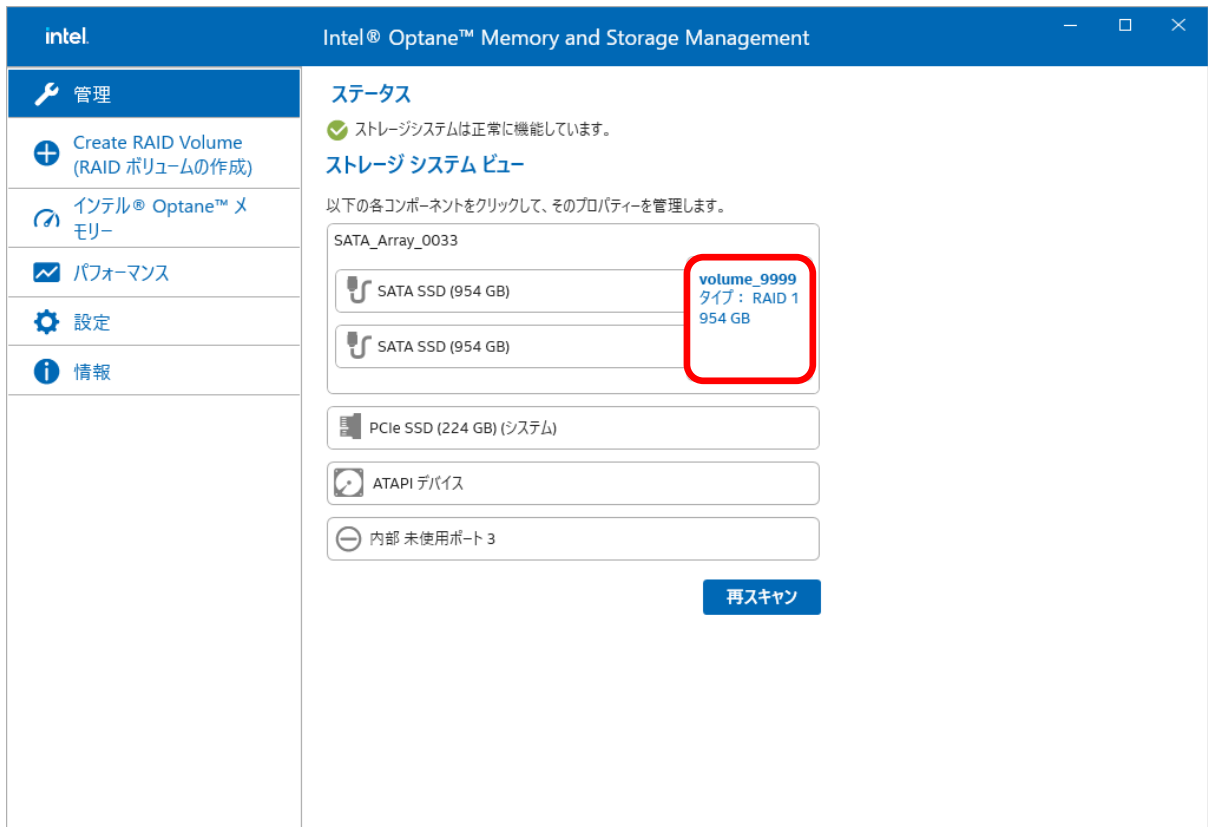
このキャッシュモードでは、システムが、データはディスクに安全に書き込まれた後のみ使用できると想定するので、データのセキュリティが高まります。データは常に、キャッシュされると同時にディスクに書き込まれます。

警告

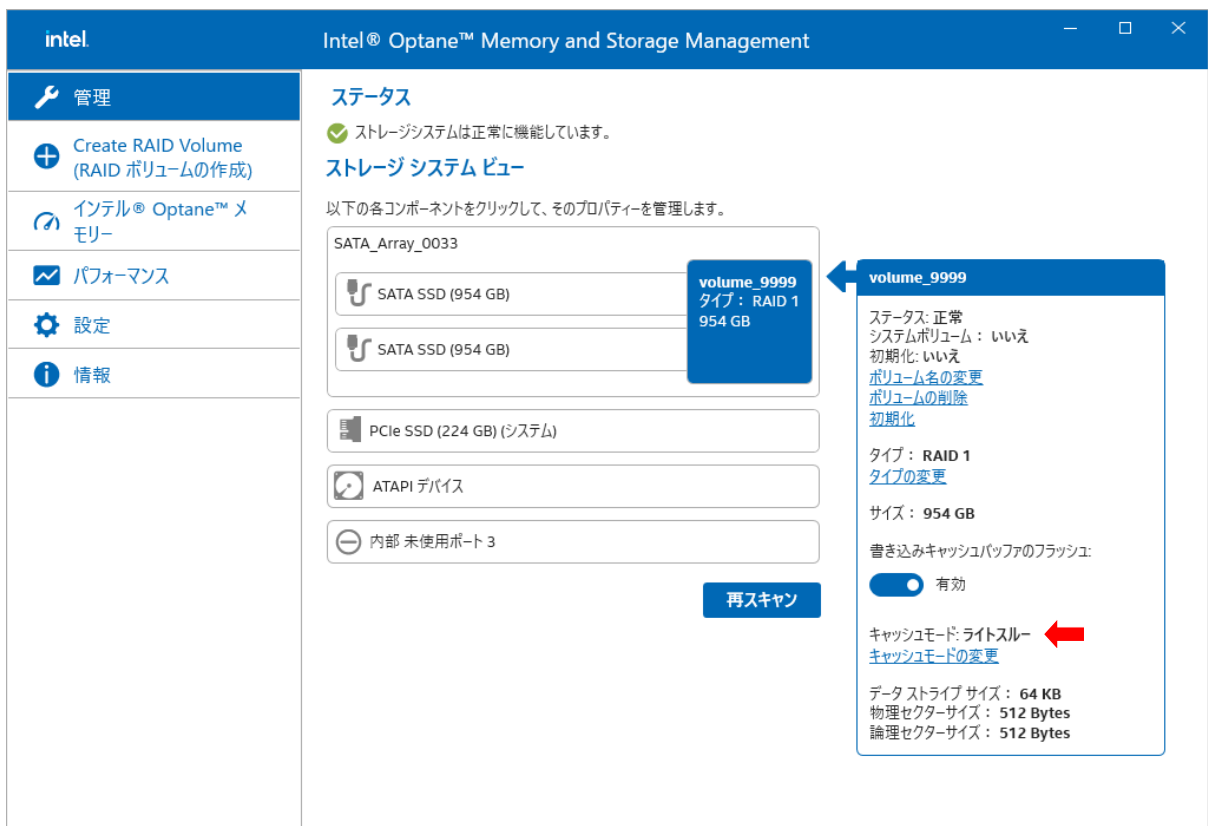
この機能はアレイのパフォーマンスを全体的に大きく向上させますが、特殊な条件下ではキャッシュされたデータが失われる可能性があります。

[さらにヘルプを表示](#)

4. GUI が[管理]メニューに遷移します。
変更したボリュームのキャッシュモードを確認するには、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



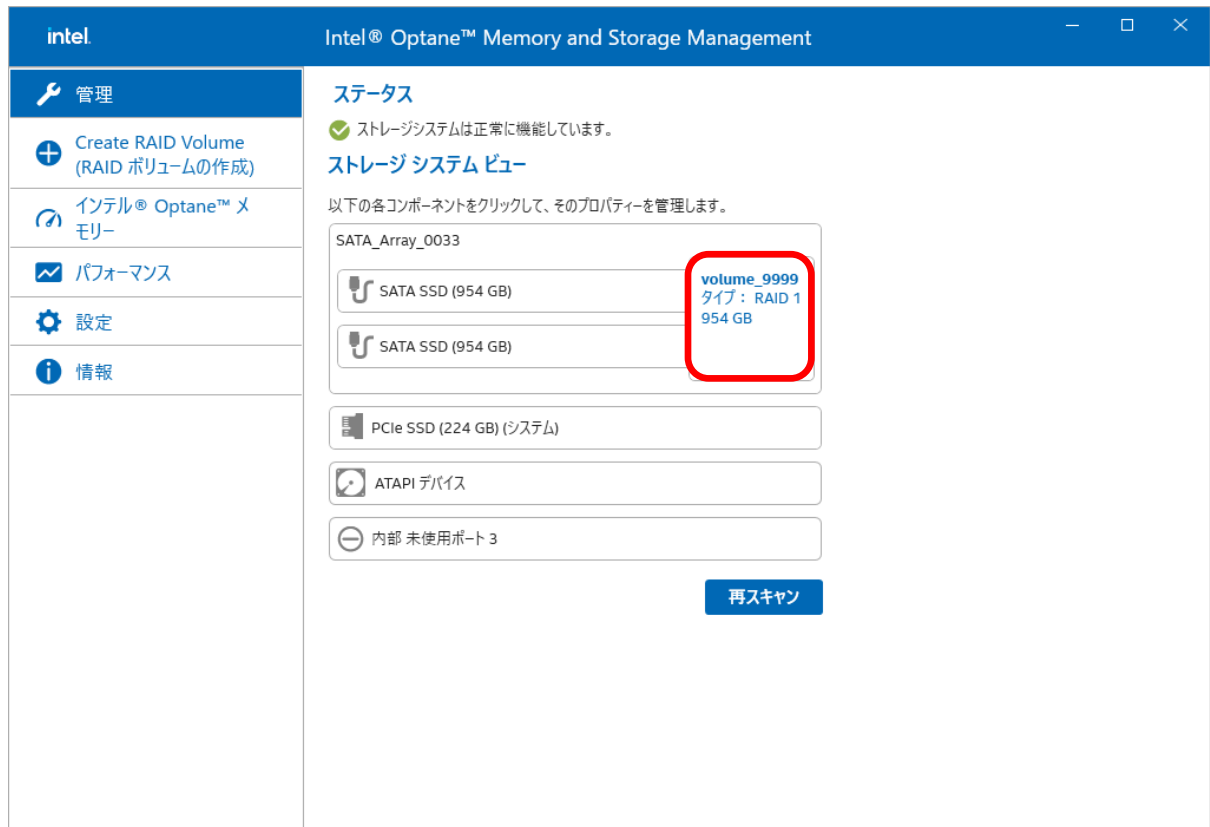
5. ボリュームの右に表示されるメニュー内の[キャッシュモード:] (赤矢印部分)が変更したいキャッシュモードになっていることを確認します。



キャッシュモードをライトバックに変更

次の手順で、これらのキャッシュモードに変更します。

1. [管理]メニューから、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



2. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:] (赤矢印部分)を選択して無効にします。

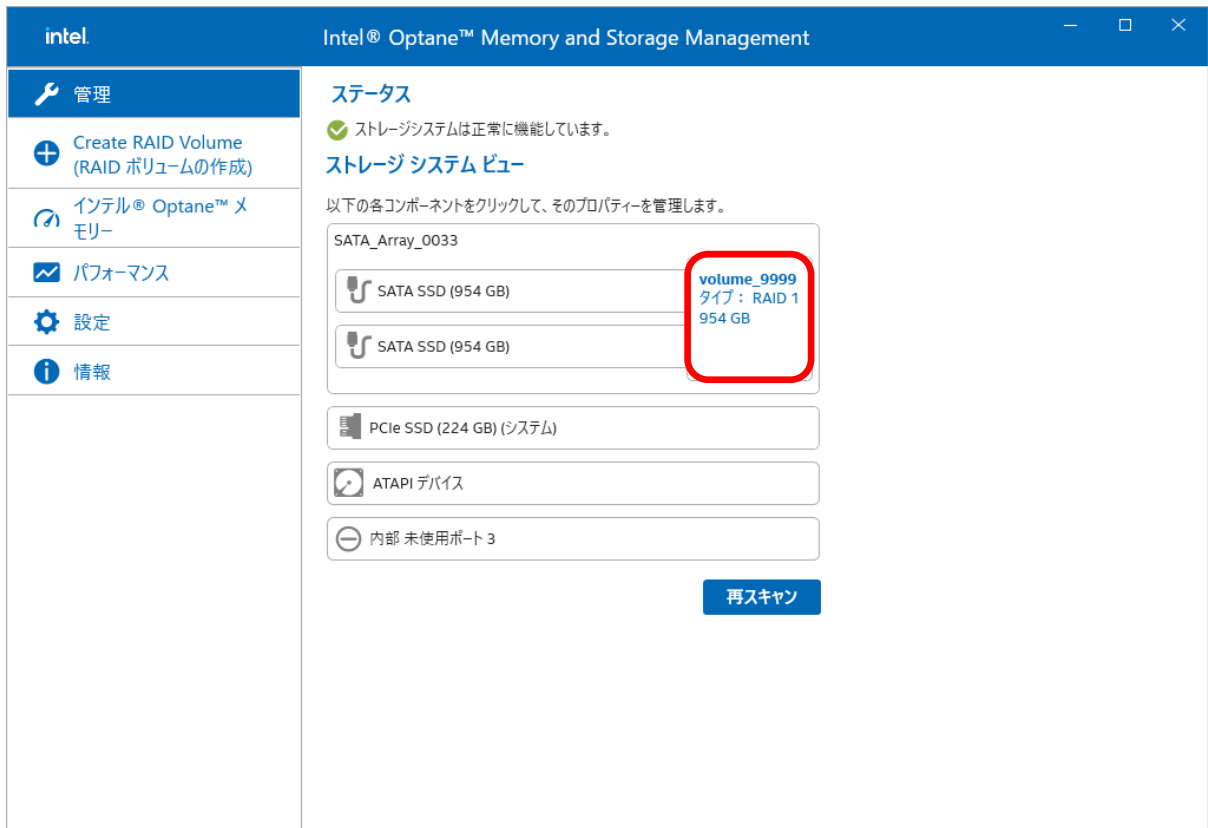


注記:

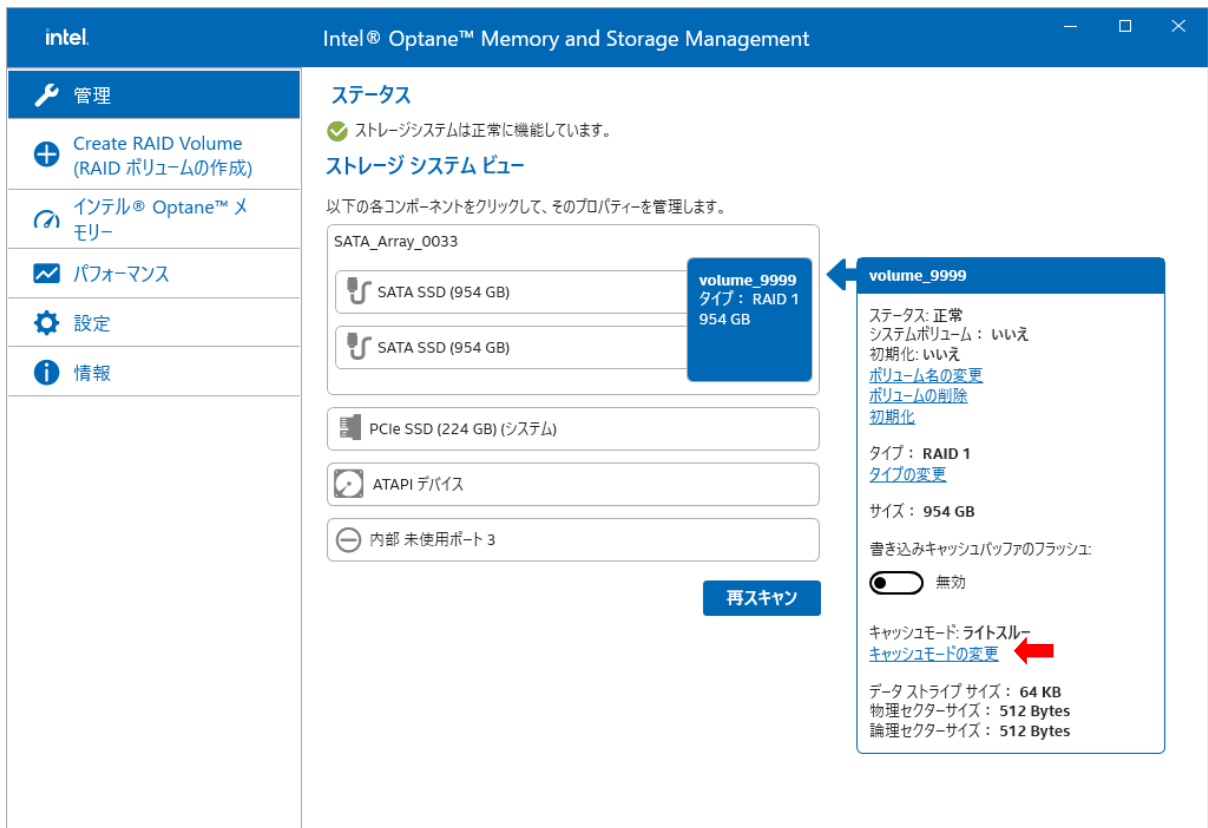
[書き込みキャッシュバッファのフラッシュ:]に[無効]と表示されている場合、この手順は不要です。
4以降の手順に従ってください。

The screenshot shows the Intel Optane Memory and Storage Management application window. The title bar reads "intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management". On the left is a navigation menu with options: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID volume creation), インテル® Optane™ メモリー (Intel® Optane™ Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The main area is titled "ステータス" (Status) and "ストレージシステムビュー" (Storage System View). It shows a RAID 1 configuration for "SATA_Array_0033" using two "SATA SSD (954 GB)" drives. A blue callout box highlights "volume_9999" with "タイプ: RAID 1" and "954 GB". Below this are "PCIe SSD (224 GB) (システム)", "ATAPI デバイス", and "内部 未使用ポート 3". A "再スキャン" (Rescan) button is at the bottom right. On the right side, a detailed view for "volume_9999" is shown, including: ステータス: 正常 (Status: Normal), システムボリューム: いいえ (System Volume: No), 初期化: いいえ (Initialization: No), ボリューム名の変更 (Change Volume Name), ボリューム名の削除 (Delete Volume Name), 初期化 (Initialization), タイプ: RAID 1 (Type: RAID 1), タイプの変更 (Change Type), サイズ: 954 GB (Size: 954 GB), 書き込みキャッシュバッファのフラッシュ: (Write Cache Buffer Flush) with a toggle switch set to "有効" (Enabled) and a red arrow pointing to it, キャッシュモード: ライトスルー (Cache Mode: Write Through), キャッシュモードの変更 (Change Cache Mode), データストライプサイズ: 64 KB (Data Stripe Size: 64 KB), 物理セクターサイズ: 512 Bytes (Physical Sector Size: 512 Bytes), and 論理セクターサイズ: 512 Bytes (Logical Sector Size: 512 Bytes).

3. GUI が[管理]メニューに遷移します。キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



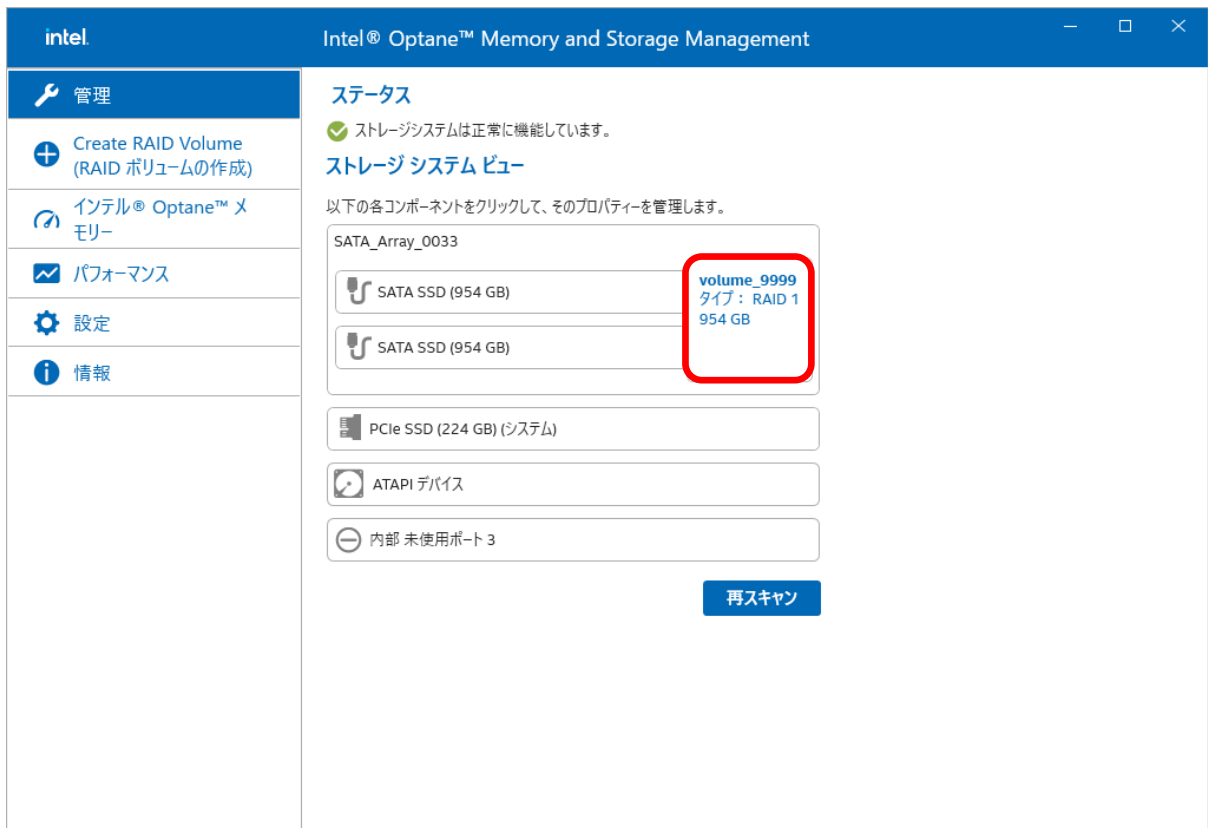
4. ボリュームの右に表示されたメニュー内から[キャッシュモードの変更] (赤矢印部分)を選択します。



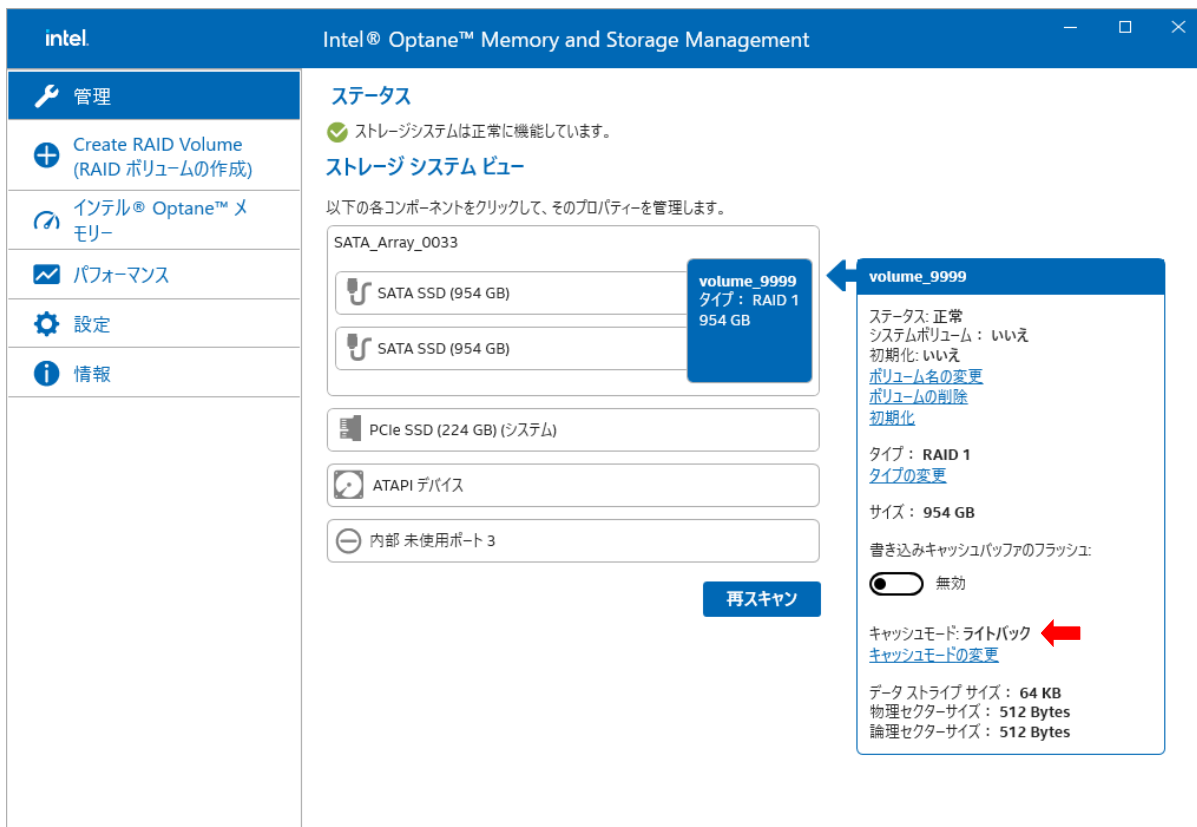
5. [ライトバック]を選択します。[変更の保存]を選択して、キャッシュモードをライトバックに変更します。



6. GUIが[管理]メニューに遷移します。
変更されたキャッシュモードを確認するには、キャッシュモードを変更したいボリューム(赤枠部分)を選択します。



7. ボリュームの右に表示されたメニュー内の[キャッシュモード:] (赤矢印部分)が[ライトバック]になっていることを確認します。



メール通知を有効にする

次の手順でメール通知を有効にします。



注記:

メール通知機能は、Intel Optane Memory and Storage Management 画面での RAID 状況確認が必要となるため推奨しません。

1. [設定]メニューから、[メール通知]の[設定]を選択します。

The screenshot shows the Intel Optane Memory and Storage Management application window. The left sidebar contains a menu with the following items: 管理 (Management), Create RAID Volume (RAID Volume Creation), インテル® Optane™ メモリー (Intel Optane Memory), パフォーマンス (Performance), 設定 (Settings), and 情報 (Information). The '設定' (Settings) option is selected and highlighted in blue. The main content area is titled '通知設定' (Notification Settings) and displays the following information:

- 通知設定**
現在の Windows 通知設定のステータス：有効
Intel® Optane™ Memory and Storage Management のトースト通知を無効にすると、このアプリケーションのすべての通知が表示されなくなります。
[設定を変更](#)
- 最新情報ウィンドウの状態：**
 無効
- ホットプラグでの自動再構築**
 無効
ホットプラグで接続したときの自動再構築のサポートを有効にすると、障害のあるアレイドスクまたは検出されないアレイドスクと同じ場所に互換性のあるディスクをホットプラグで接続することにより、劣化したボリュームの再構築処理を自動的に開始できるようになります。
警告：移行処理を開始すると、ホットプラグのディスクにある既存データはすべて永久に削除されます。ディスクをホットプラグで接続する前にデータをバックアップしてください。
- メール通知**
 無効
[設定](#)

2. [SMTP の構成]の各フィールドを設定してください。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

SMTP の構成

差出人の電子メールアドレス

SMTP ホスト

ポート (デフォルト : 25)

宛先電子メールアドレス

宛先電子メールアドレス

宛先電子メールアドレス

テスト通知を送信

通知設定

次の通知を送信 :

インテル® Optane™ メモリー

RAID ボリューム

バス/ストレージディスク

次のイベントに関して :

情報

警告

エラー

戻る 設定を保存

3. [設定を保存]を選択して、設定を保存します。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

SMTP の構成

xxx@xxx.com

smtp.xxx.com

25

yyy@yyy.com

宛先電子メールアドレス

宛先電子メールアドレス

テスト通知を送信

通知設定

次の通知を送信 :

インテル® Optane™ メモリー

RAID ボリューム

バス/ストレージディスク

次のイベントに関して :

情報

警告

エラー

戻る 設定を保存

4. [メール通知]が有効になります。

intel Intel® Optane™ Memory and Storage Management

管理

Create RAID Volume (RAID ボリュームの作成)

インテル® Optane™ メモリー

パフォーマンス

設定

情報

通知設定

現在の Windows 通知設定のステータス：有効

Intel® Optane™ Memory and Storage Management のトースト通知を無効にすると、このアプリケーションのすべての通知が表示されなくなります。

設定を変更

最新情報ウィンドウの状態：

有効

ホットプラグでの自動再構築

無効

ホットプラグで接続したときの自動再構築のサポートを有効にすると、障害のあるアレイドスクまたは検出されないアレイドスクと同じ場所に互換性のあるディスクをホットプラグで接続することにより、劣化したボリュームの再構築処理を自動的に開始できるようになります。

警告：移行処理を開始すると、ホットプラグのディスクにある既存データはすべて永久に削除されます。ディスクをホットプラグで接続する前にデータをバックアップしてください。

メール通知

有効

設定



注記：

メール通知機能をご使用時にメール通知を受信した場合は、メール内容だけでなく、Intel Optane Memory and Storage Management 画面にて RAID 状況をご確認ください。

障害通知

障害通知

Intel Optane Memory and Storage Management が管理する物理デバイスおよび論理ドライブで発生する重要なイベントは、ESMPRO/ServerManager ヘアラートとして送信します。

通知メッセージ

アラートのソース、タイプ

ソース	タイプ
RST Middleware	RST

イベント一覧

イベント内容	イベント ID	種類	処置内容
物理デバイス致命的エラー	157	警告	物理デバイスを交換してください。
S.M.A.R.T.エラー	7002	警告	物理デバイスを交換してください。
論理ドライブオフライン	7205	警告	故障した物理デバイスを交換してください。交換後、論理ドライブを作成しなおし、バックアップからデータを復旧してください。
論理ドライブ縮退	7206	警告	ホットスペアを用意していれば自動的にリビルドを実行します。ホットスペアを用意していなければ、故障した物理デバイスを交換してください。交換後、リビルドしてください。



注記:

Intel Optane Memory and Storage Management インストレーションガイドのインストール手順に記載している指定フォルダ([C:\RST]フォルダ)に格納されていないと、障害通知されません。